

令和3年度
第4回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「生涯学習について」

「地域活動・協働について」

「都市交流について」

台東区 総務部 広報課

令和3年度 第4回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) 生涯学習について
- (2) 地域活動・協働について
- (3) 都市交流について

調査概要

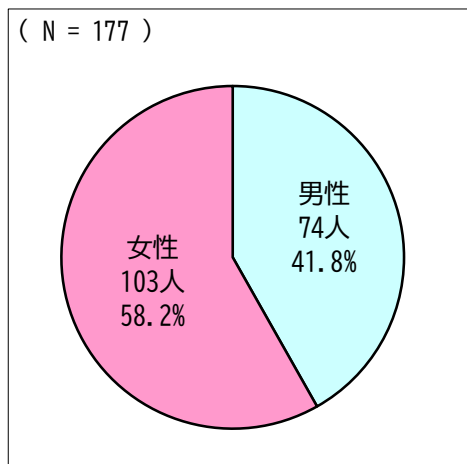
調査期間 令和3年12月9日（木）～12月22日（水）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター62名、Eメールサポーター138名）

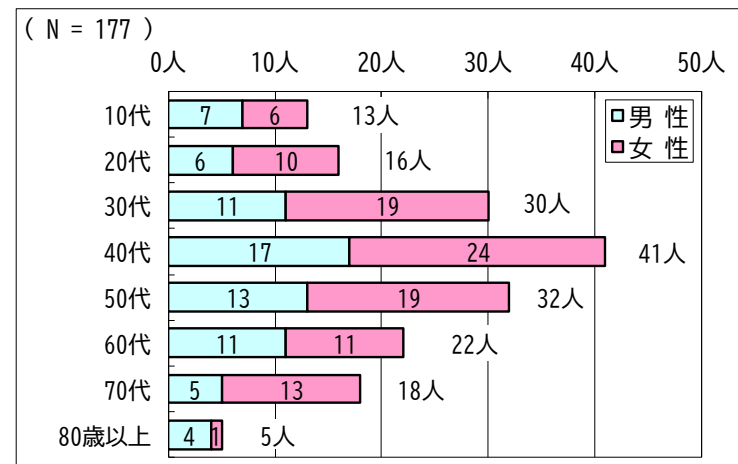
有効回収数 177名（郵便59名、Eメール118名） 有効回収率88.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	3人	3人	3人	10人	14人	4人
女 性	7人	6人	9人	12人	11人	5人
計	10人	9人	12人	22人	25人	9人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	7人	9人	10人	7人	4人	74人
女 性	8人	7人	11人	13人	14人	103人
計	15人	16人	21人	20人	18人	177人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	18人	80人	30人	19人	16人	14人	177人

目 次

I 調査結果の分析

「生涯学習について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「地域活動・協働について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

「都市交流について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【生涯学習について】

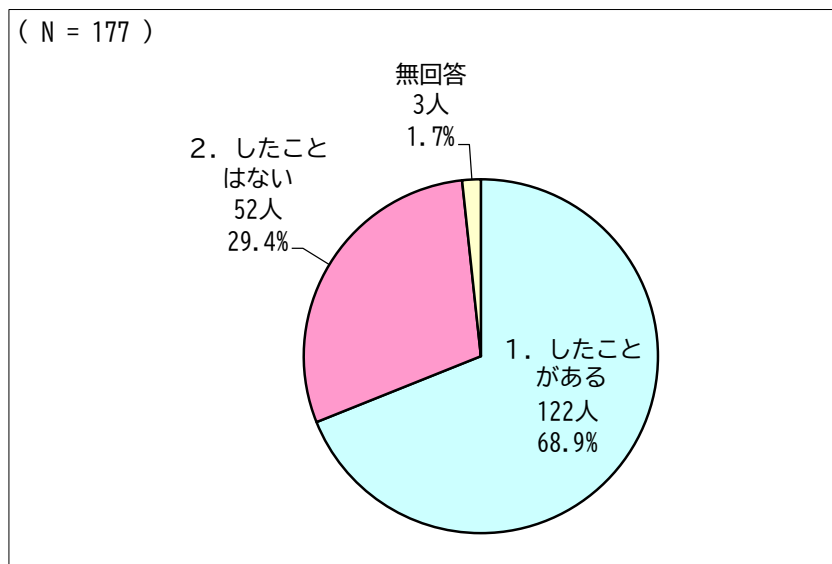
今回の調査では、過去1年間に何らかの生涯学習をしたことがある方は、約7割という結果になりました。生涯学習を行った場所や形態について「自宅での学習活動（書籍など）」と回答した方が最も多いことや、過去1年間に生涯学習をしなかった理由について「新型コロナウイルスの影響のため」と回答した方が最も多いこと、Zoom等を利用したオンラインでの学習を利用したことがあると回答した方が約5割ということなどから、コロナ禍という世相を反映した結果となりました。また、就労世代が参加しやすい講座の開催や、申し込み方法、情報発信の改善などについて貴重なご意見をいただきました。

今回の調査結果をもとに、今後もより多くの方が生涯学習に親しみ、学習活動の楽しさを享受いただけるよう、事業の周知と充実を図ってまいります。

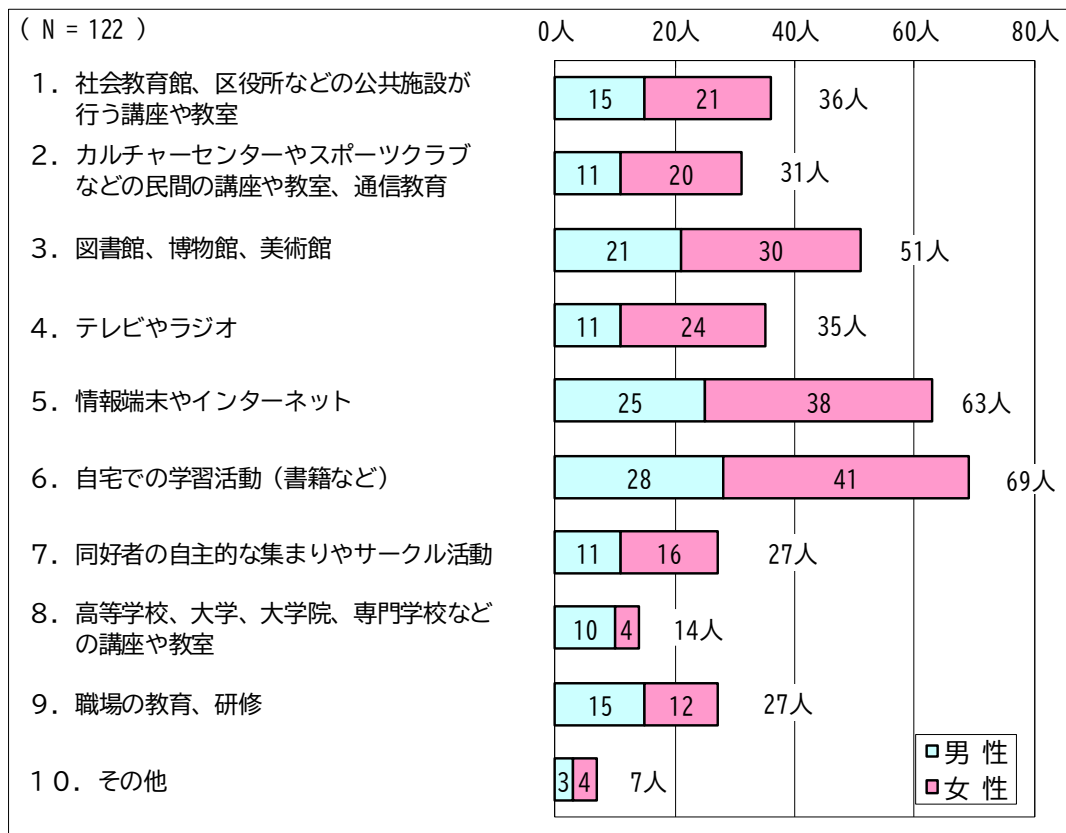
(教育委員会 生涯学習課)

設問1：「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも自由に行う学習活動のことで、学校教育や社会教育館における講座等に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などのさまざまな学習活動のことをいいます。

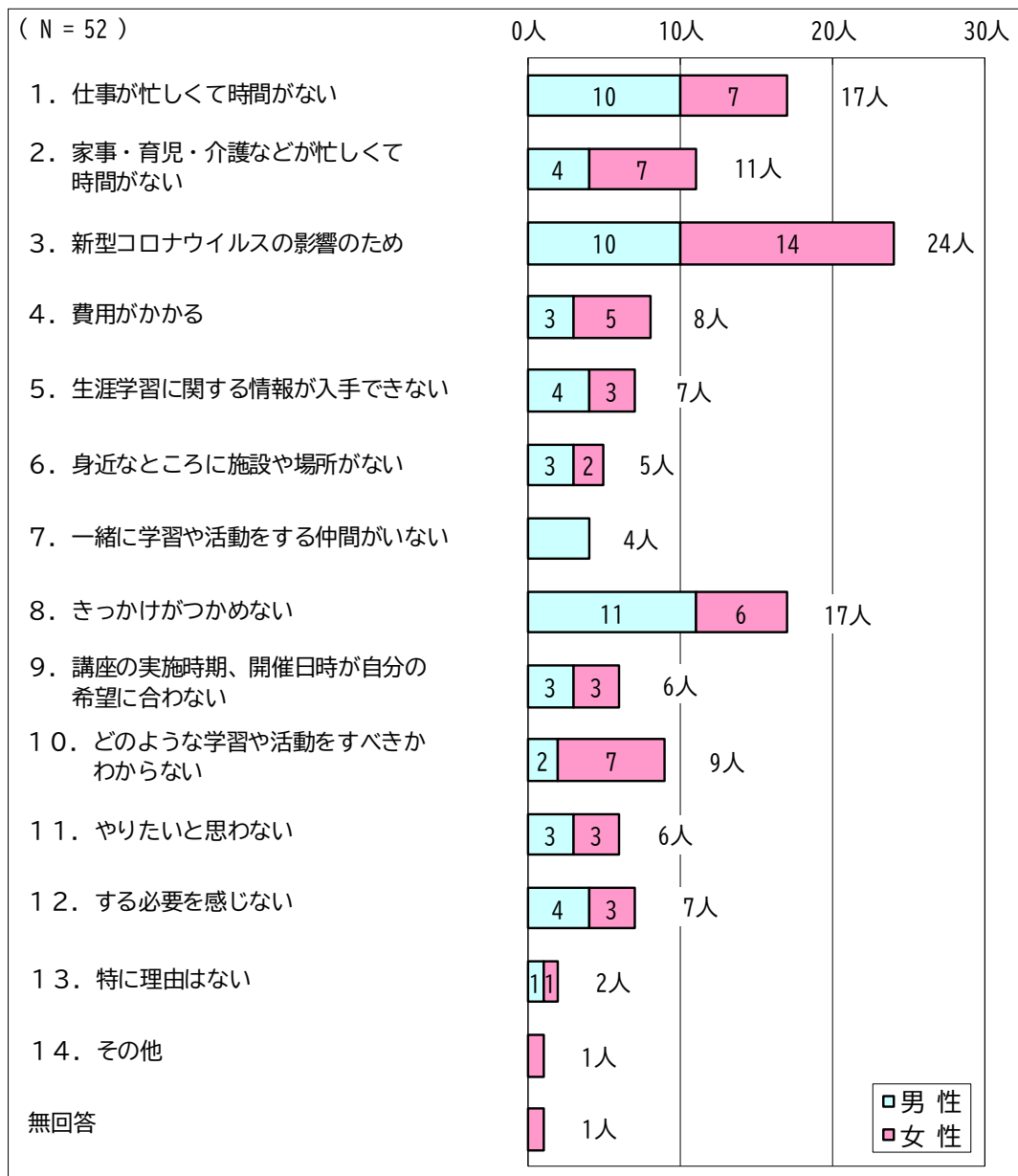
あなたは、過去1年間に何らかの生涯学習をしたことがありますか。



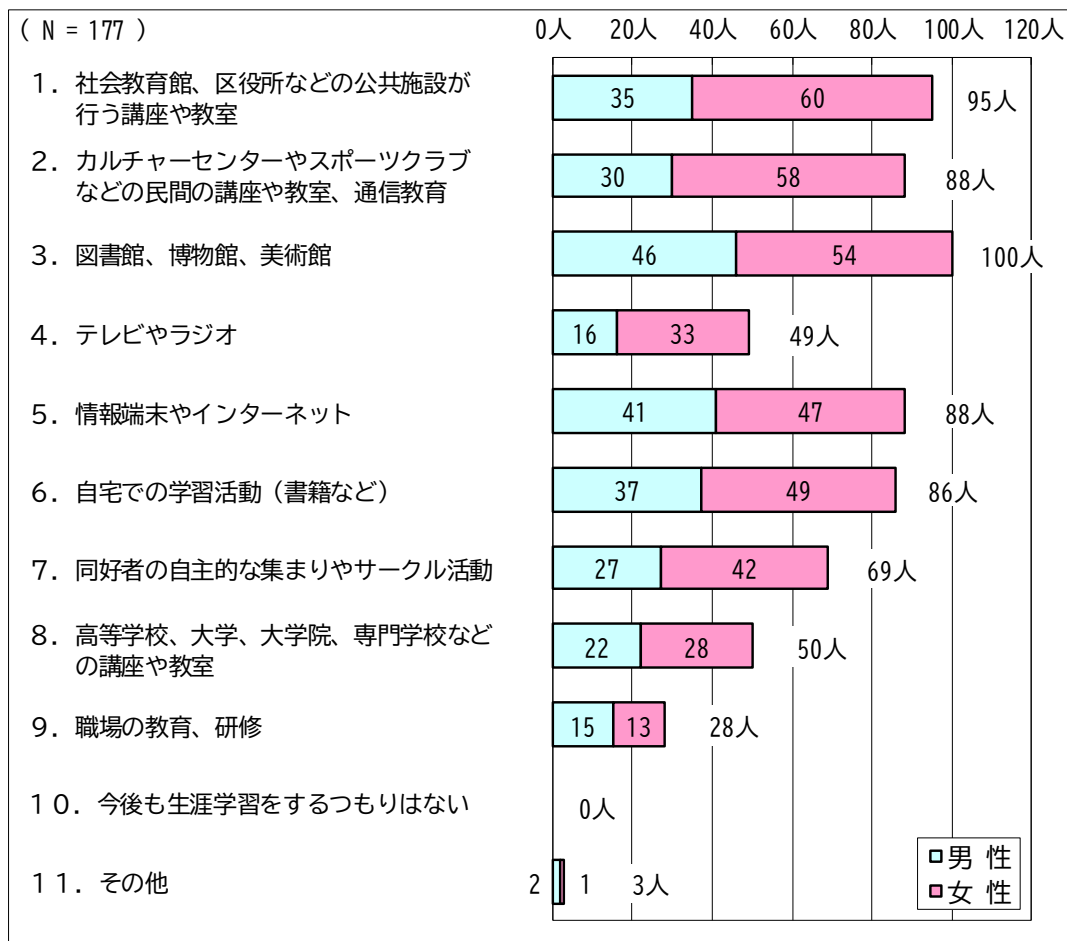
設問2：設問1で選択肢1「したことがある」を選択した方にお伺いします。
 あなたは、過去1年間にどのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。
 (複数回答可)



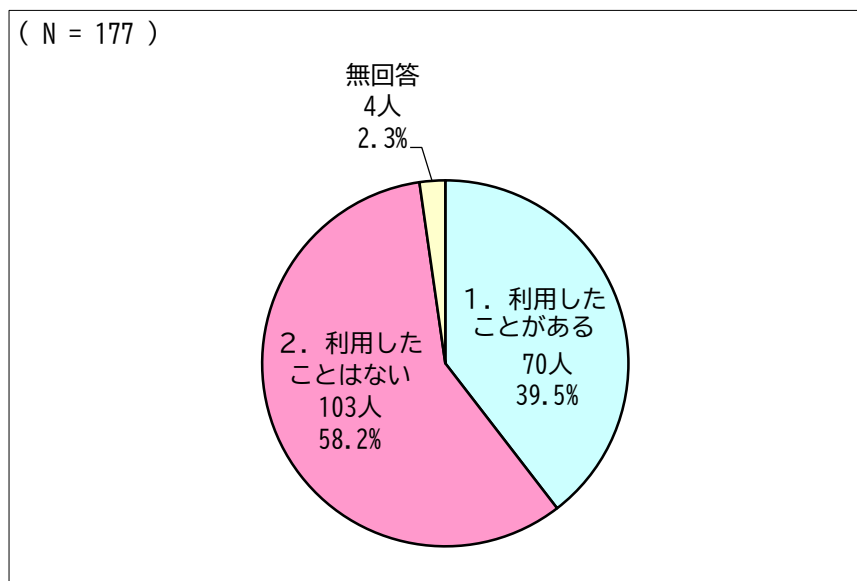
設問3：設問1で選択肢2「したことはない」を選択した方にお伺いします。
 あなたが過去1年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。
 (複数回答可)



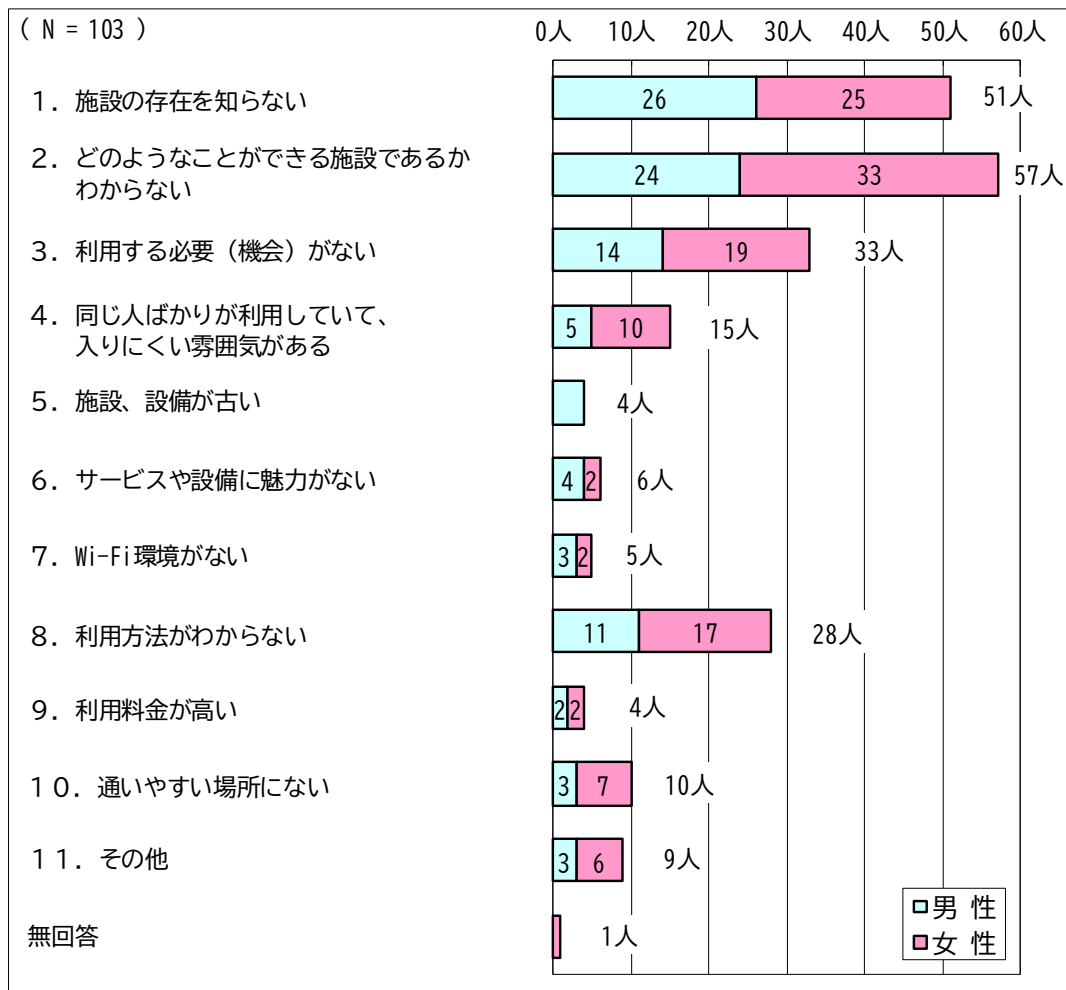
設問4：あなたは、今後どのような場所や形態で生涯学習を行いたいですか。（複数回答可）



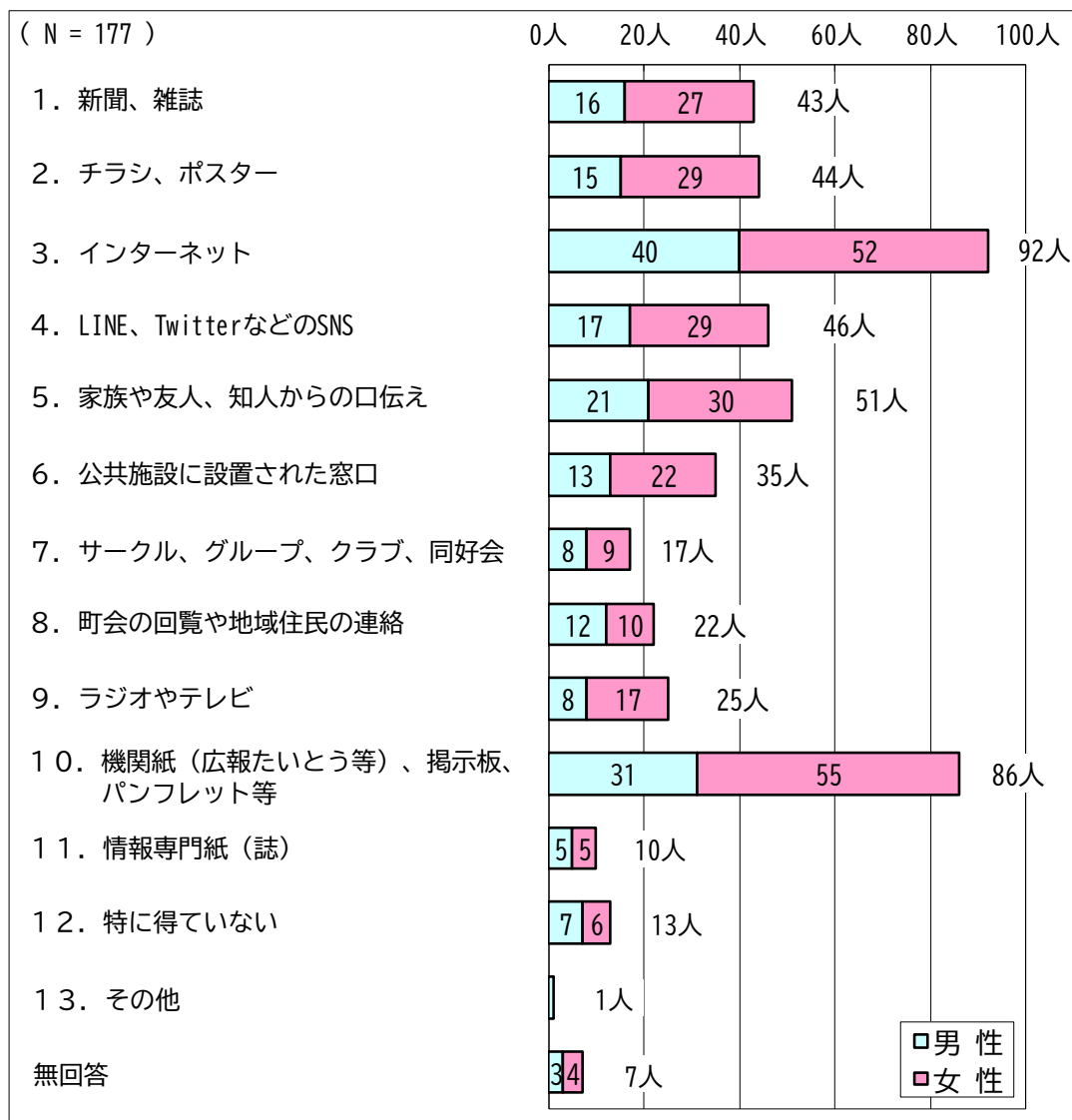
設問5：あなたはこれまでに台東区の社会教育センターや社会教育館を利用したことがありますか。



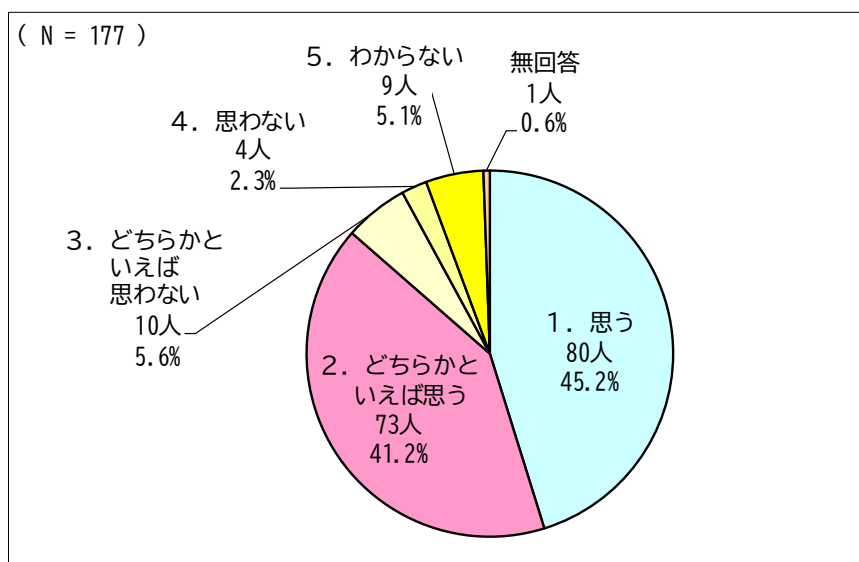
設問6：設問5で選択肢2「利用したことはない」を選択した方にお伺いします。
 台東区の社会教育センターや社会教育館を利用したことがない理由は何ですか。
 (複数回答可)



設問7：あなたは生涯学習に関する情報をどのような方法で得ていますか。（複数回答可）

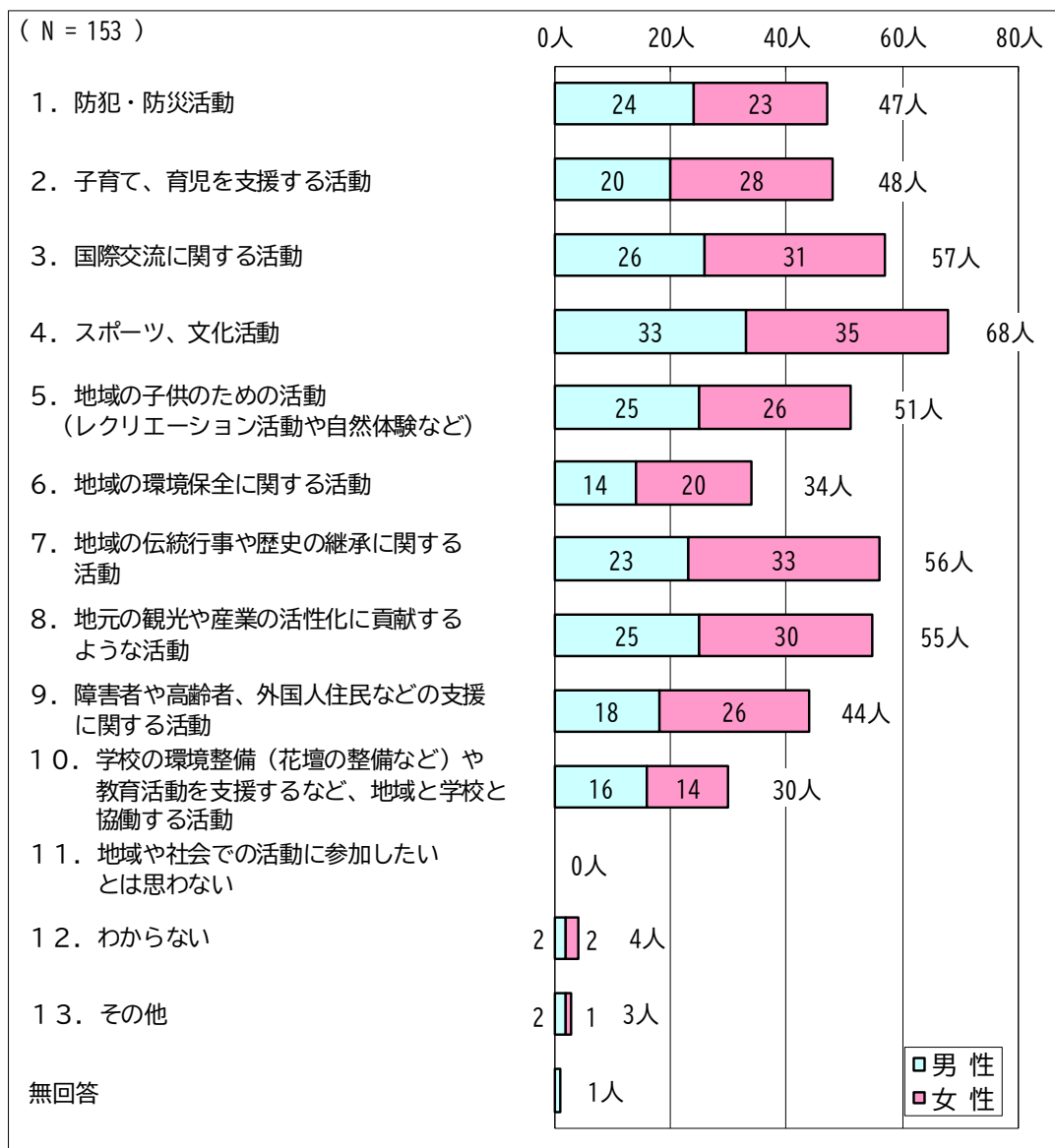


設問8：仕事や生涯学習などを通じて身に付けた知識・技能や経験を地域活動や社会に活かしたいと思いませんか。



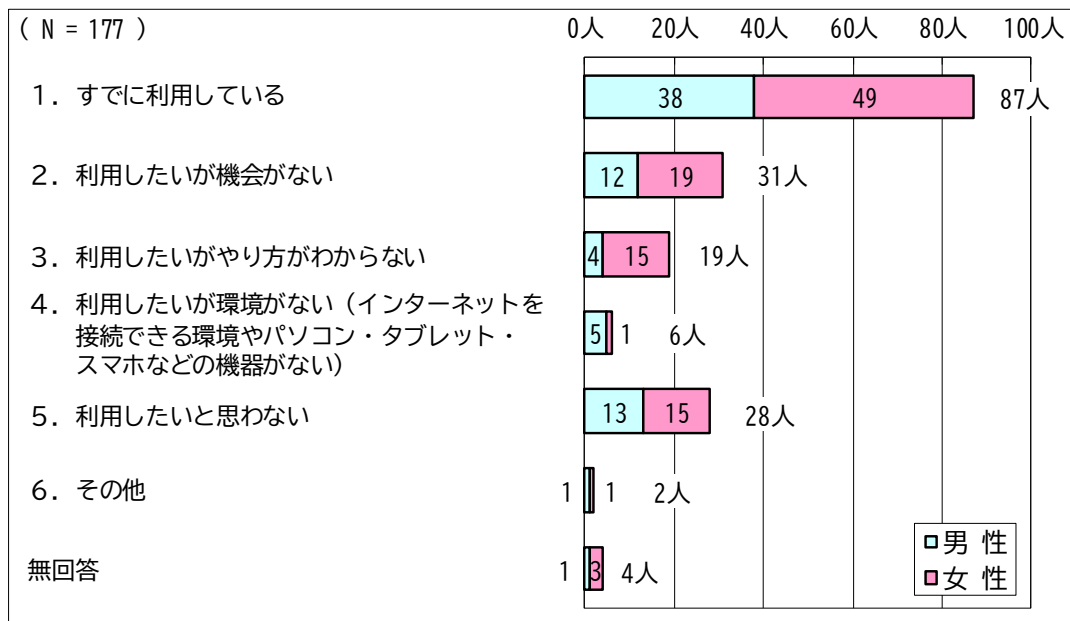
設問9：設問8で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)



設問10：コロナ禍により、Zoom等を利用した講座や教室など、オンラインでの学習機会が増えています。

あなたは、オンラインでの学習を利用したことがありますか。



設問11：台東区の生涯学習の推進について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・色々な募集を見るが、開催時間が平日の昼間が多く、興味があっても参加できない。夜の時間帯も設けてほしい。
- ・YouTubeやZoomを使った学習や座学の学習と併せて、得た知識を活かす機会もあれば知りたい。
- ・生涯学習の情報があまり届いていないと感じる。SNSを利用した情報発信を充実させてほしい。
- ・講座が平日であること、少人数であること、応募が往復はがきであることを改善してほしい。
- ・はがきでの応募が多いが、はがきを用意するのが大変だ。インターネットで申し込めるのであれば、積極的に参加したい。
- ・台東区は文化資源も多く、それを体系的に学ぶことができれば、観光客などに紹介できて楽しいのではないかと思う。
- ・オンラインでの学習機会が増えているので、ZoomやYouTubeを活用した講座を増やしてほしい。
- ・多種多様な生涯学習が行われているが、あまりにも参加人数が少ないため、申し込みをためらうことがある。
- ・歴史を学んだ人は名所旧跡ボランティアガイドの機会を得られるなど、学習したことによって社会に役立つ仕事に就けるといふ、一連のシステムが構築できれば理想だと思う。
- ・講座や講演などの募集対象者を具体的に記載してほしい。参加をして場違いではないか、自分にとって意味のある内容なのかで悩むことが多く、結局申し込まないことがある。
- ・子供が気軽に利用できるようにした方が良く思う。
- ・他区と比較して台東区はとても充実していると思う。小学生くらいの親子でできる学習を増やしてほしい。
- ・不安や心配なく参加できるように、参加したことのない人が参加しやすい告知、方法を検討してほしい。

- ・今まで様々な学習の機会があったが、平日の昼間等、勤めている社会人には参加しにくいと思う。夜間や休日もあるといいと思う。
- ・生涯学習に関する施設では、どのようなことができるのか教えてほしい。
- ・若い世代には何が行われているのか情報が入ってこない。まずはSNSを使って情報を拡散した方がよい。
- ・今後もオンラインを利用した学習環境の整備が急務だと考える。社会人ももちろんだが、学校などのオンライン、デジタル化はスタートしたばかりなので、これからの期待する。
- ・参加してみたいが、時間が合わないのと、情報が漠然としていて、どれに参加していいのかわからない。
- ・オンラインにより台東区以外の人とも交流しながら、地域活性化や若者がグローバルで活躍できるよう育成できると良いと思う。
- ・今後、仕事を引退したら週に2～3回活動できたら幸せだと思う。また、ボランティア等も考えていきたい。色々な窓口を作ってもらえると嬉しい。
- ・高齢になり余暇が増えたので、台東区の講座を利用したい。高齢者にできる講座を多くしてほしい。
- ・若者は情報を得る機会が多いが、高齢者はその機会が少ないように感じる。ネット化の社会だからこそ、紙媒体等でのアピールも必要と思う。
- ・初めてでも参加しやすい初心者歓迎の教室があれば行きやすいと思う。広報たいとう等で積極的に発信してほしい。

【地域活動・協働について】

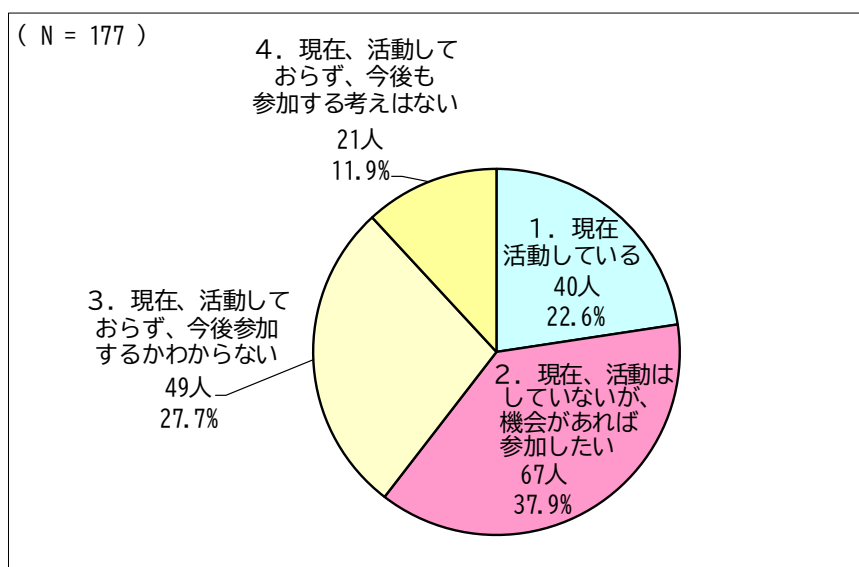
今回の調査で、地域活動について「現在活動している」と回答した方は約2割という結果になりました。そのうち、「区と協働で事業を実施したことがある」と回答した方は約4割でした。

区と協働したことでの良かった点として、「区との繋がりができた」「活動の幅が広がった」との回答が多かった一方で、課題として「調整することが多く、時間がかかった」との回答が多く、協働することの難しさも見られました。

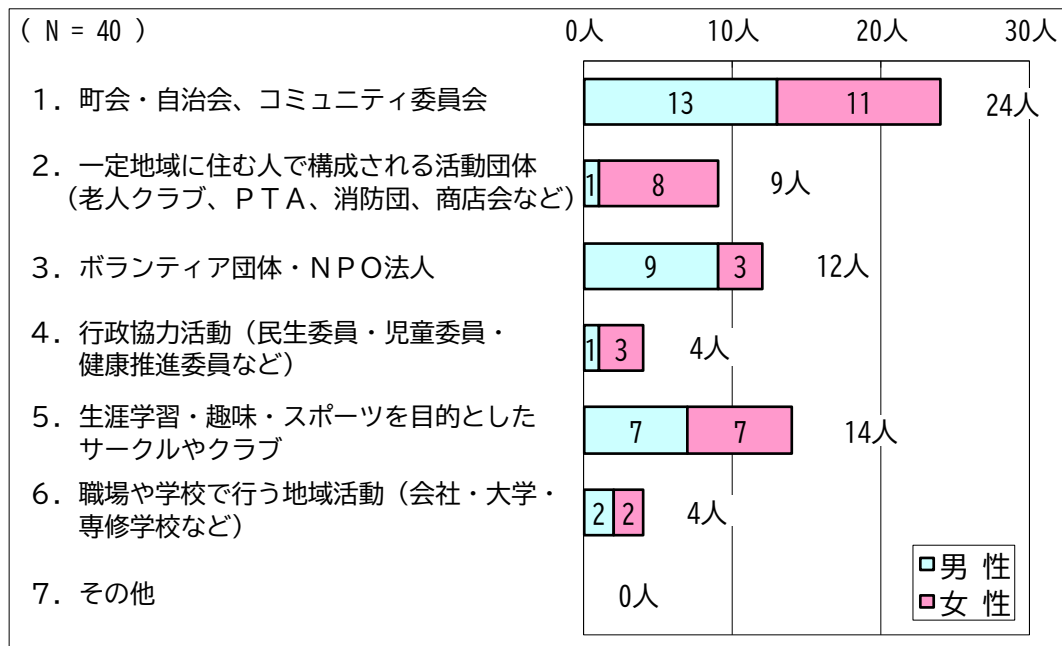
今回いただいたご意見を参考に、地域で活動する団体同士や行政とのパイプ役を担う中間支援組織とも連携して、地域活動に関する情報発信・機会の提供を行うとともに、更なる協働の推進を図ってまいります。

(区民部 区民課)

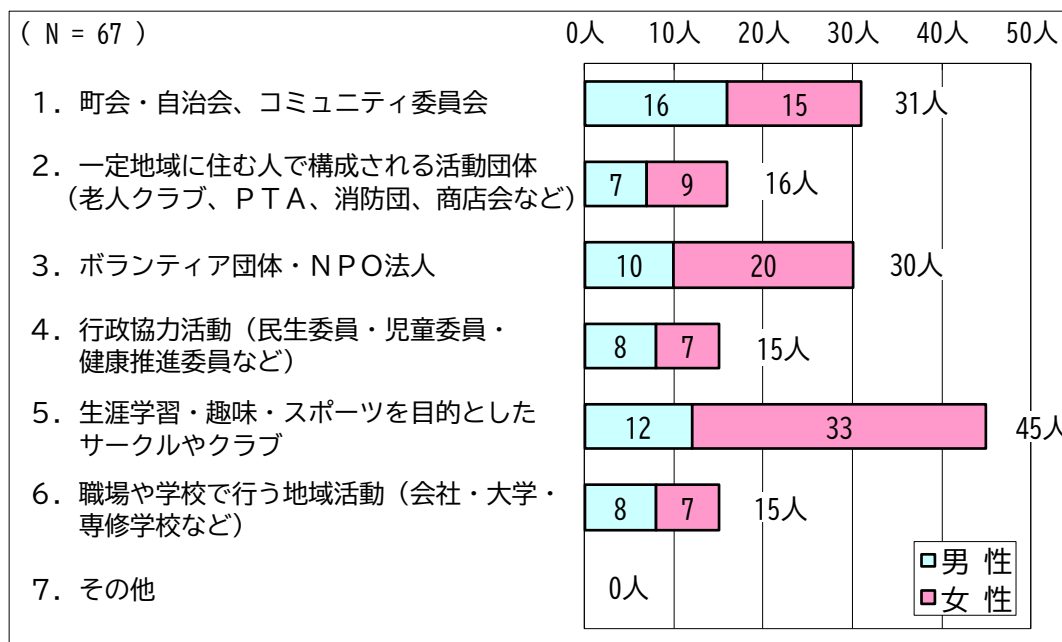
設問12：町会、サークルやクラブ、ボランティアなどの地域活動をしていますか。
または、今後、参加したいと思いますか。



設問13：設問12で選択肢1「現在活動している」を選択した方にお伺いします。
あなたが活動・参加している地域活動の団体はどれですか。（複数回答可）



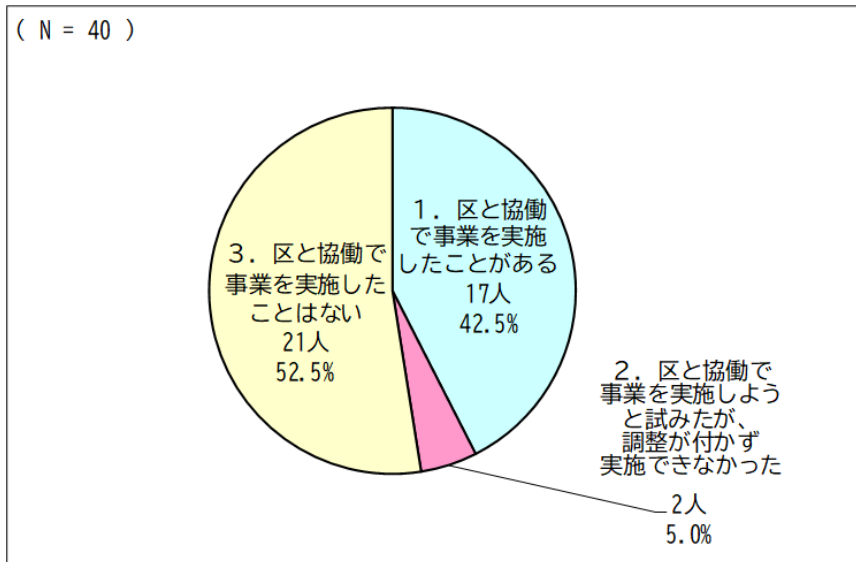
設問14：設問12で選択肢2「現在、活動はしていないが、機会があれば参加したい」を
選択した方にお伺いします。
あなたが活動・参加したい地域活動の団体はどれですか。（複数回答可）



設問15：設問12で選択肢1「現在活動している」を選択した方にお伺いします。

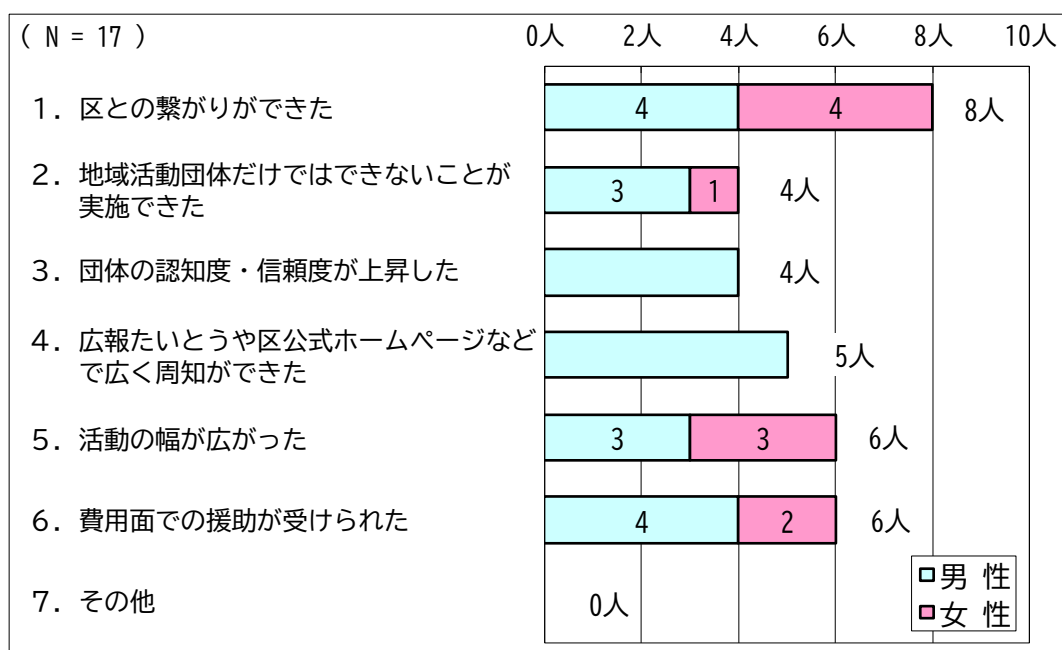
「協働」とは、「多様な主体が相互の立場や特性を認め合い、共通する課題の解決や社会的目的の実現に向けて協力して取り組むこと」とされています。

区と協働でイベントなどの事業を実施したことはありますか。



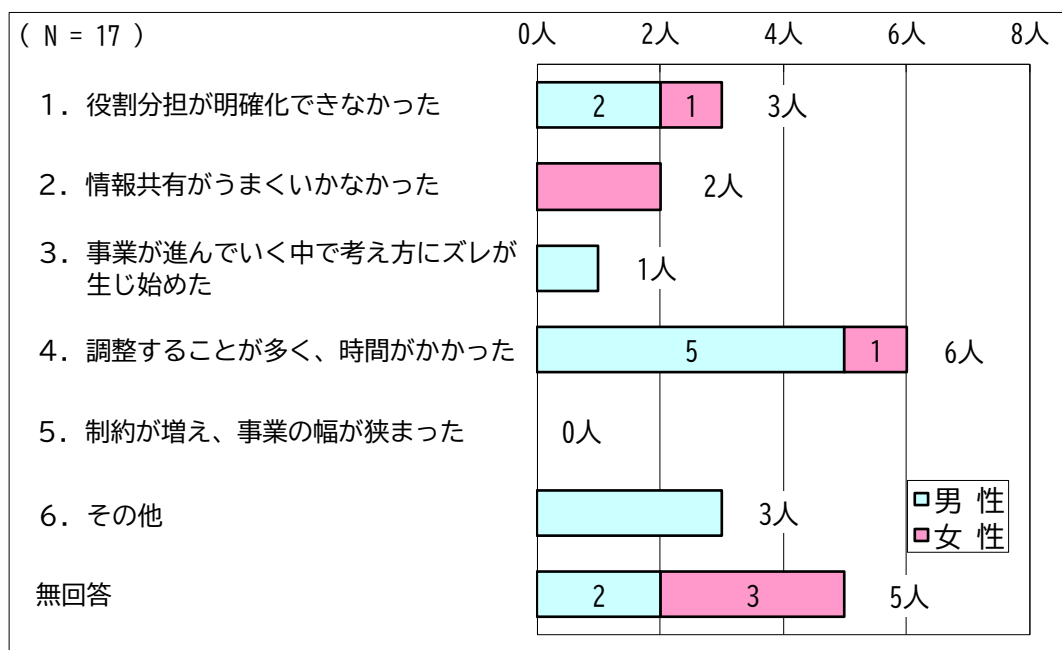
設問16：設問15で選択肢1「区と協働で事業を実施したことがある」を選択した方にお伺いします。

区と協働で事業を実施して良かったことは何ですか。(複数回答可)



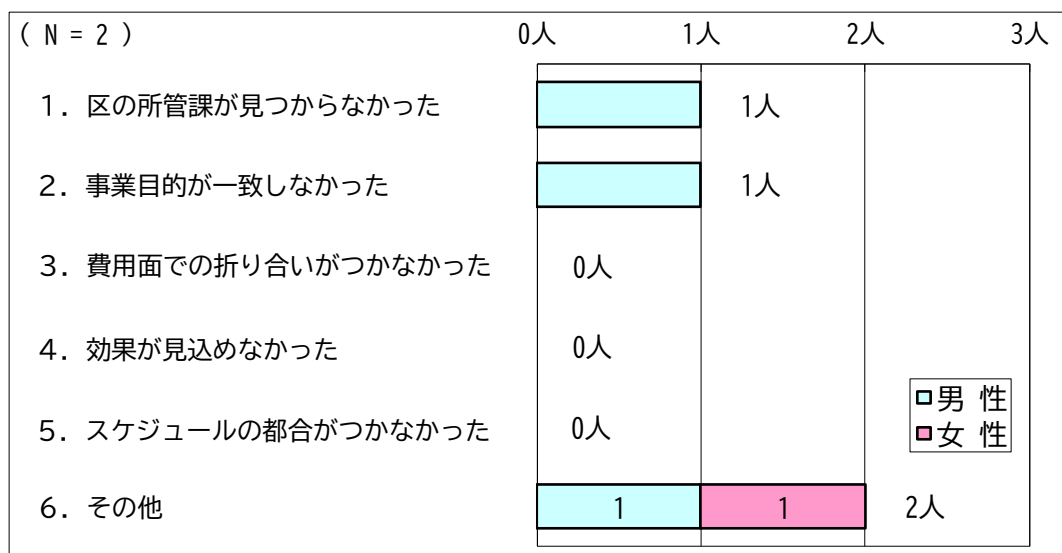
設問17：設問15で選択肢1「区と協働で事業を実施したことがある」を選択した方にお伺いします。

区と協働で事業を実施するにあたって課題となったことは何ですか。(複数回答可)



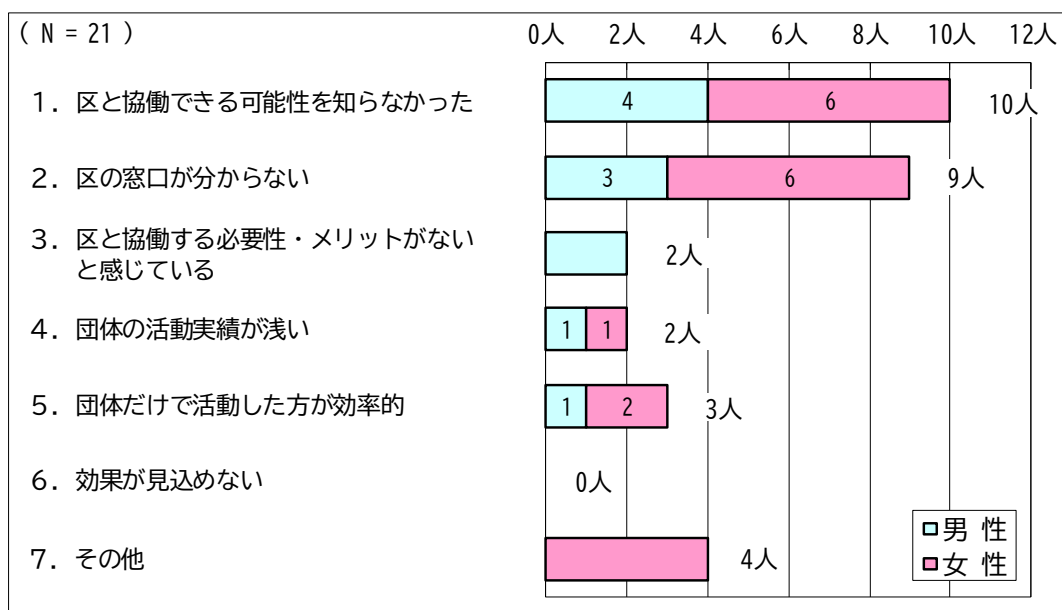
設問18：設問15で選択肢2「区と協働で事業を実施しようと試みたが、調整が付かず実施できなかった」を選択した方にお伺いします。

調整できなかった理由は何ですか。(複数回答可)



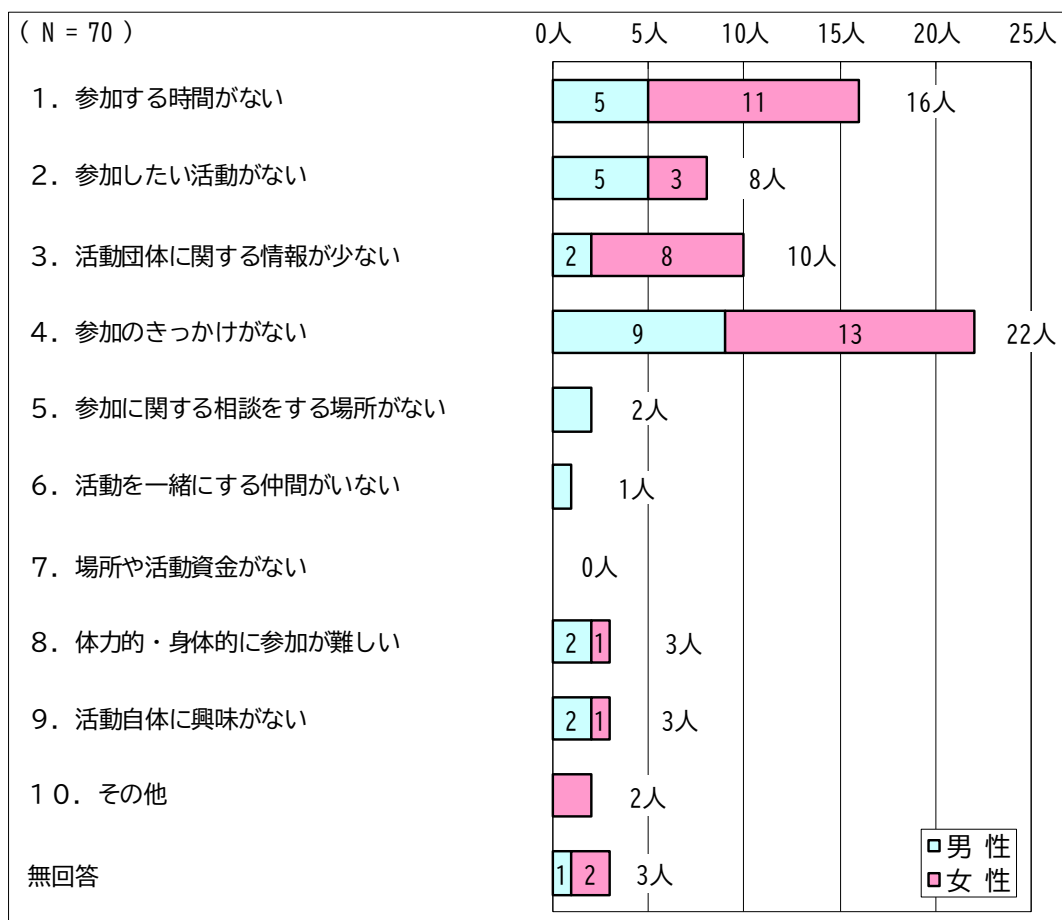
設問19：設問15で選択肢3「区と協働で事業を実施したことはない」を選択した方にお伺いします。

実施したことがない理由は何ですか。(複数回答可)

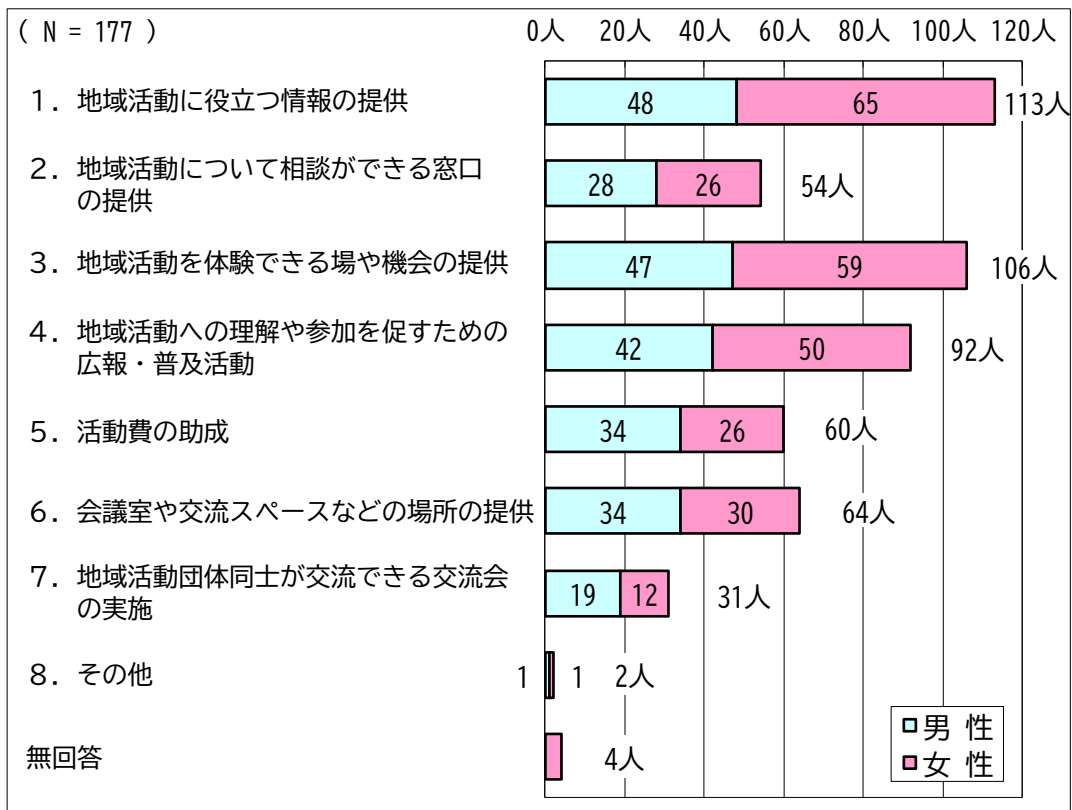


設問20：設問12で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。

地域活動に参加していない理由は何ですか。



設問21：区民がより地域活動に参加しやすくなり、また、団体の地域活動がより活発になるために、区にどのような支援を求めますか。(複数回答可)



設問22：地域活動・協働についてご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・生まれ育った台東区に2年前に戻った。一度コミュニティから出ると入りにくいこともある。きっかけづくりをしてほしい。
- ・若者へのアプローチを強化してほしい。若者にとって地域活動・協働は同世代がいない印象かと思う。メリットも大切だが、楽しさが伝わる方法、周知する術を行政と一緒に模索できると良いと思う。
- ・地域活動は内容によって閉鎖的な空間になりやすい気がしているので、幅広く色々な人が参加しやすい地域活動を用意すると良いと思う。
- ・清掃活動や花壇植栽活動など、年齢性別に関係なく出来る活動をベースに皆が楽しめる企画を盛り込み、広く一般に呼び掛けることが「地域活動・協働」と考える。
- ・近くに住んでいる色々な世代の人と交流したい。地域活動を通じてそのような機会ができれば嬉しい。
- ・台東区に居住し、台東区のコミュニティで暮らしを送っているため、どのような交流がされているかの発信を区でもピックアップして取り上げられると良いと思う。
- ・コロナ禍で町会活動が縮小している現状がある。昨今の住宅事情や高齢化を鑑みると、一度活動が途切れてしまうと再開できない気がする。
- ・区が当たり前に行っていることも区民は知らないことが多く、より多くの人アクセスできるようにしないと広まらないと思う。区のホームページは興味があって検索したい人にしか届かないと思った方が良い。
- ・目に見えるメリットがないとなかなか参加しようとは思えないのではないかと思う。
- ・地域活動を体験できる場があったら良いと思う。
- ・子供がいないと地域との関わり方がわかりづらい。子供ができて少し町会のイベントに参加して、どのようなイベントがあるかもわかってきた。橋渡しをしてくれる制度があれば、もっと地域と関わるができると思う。
- ・区民が参加しやすくなるように、地域活動についての見える化の支援、合同説明会を行ったらどうか。

- ・地域活動にどのように若い人を取り込んでいくかが課題だと思う。そのためにSNSを利用したり、学校と連携したりしてはどうか。手続きが煩雑なイメージがあるので、オンラインで簡単にできるようにしたら良いと思う。
- ・活動について良く知らない。アピールがもっと必要なのではないかと考える。
- ・地域活動に協力するためには、地域活動内容を把握し理解する必要がある。その中で自分ができること、興味があることに一度見学または参加できる機会があればスムーズに入れるのではと思う。
- ・コロナをきっかけにNPOへ寄付をしたり、支援活動をしている組織に目が行くようになった。自分も関わりたいと思うもののきっかけがない。地域でどのようなことができるのか、目につくように情報を置いてほしい。
- ・気軽に短時間でも参加できるようにしたら、多くの人に参加しやすくなると思う。
- ・地域活動を通じた人々のつながりは災害等の非常時に近所の人たちの助け合いにつながると思うので、積極的に発信し、つながりを持てる活動をしていかなければならないと思う。
- ・地域に根差した活動はしたいと思うが、既存のコミュニティの団結が強く、入れないのではないかという不安を強く感じる。
- ・若い人に興味を持ってもらい、気軽に参加してもらいたい。新たな人材確保が急務である。
- ・ゴミや缶を集めているボランティアの人達には感謝している。

【都市交流について】

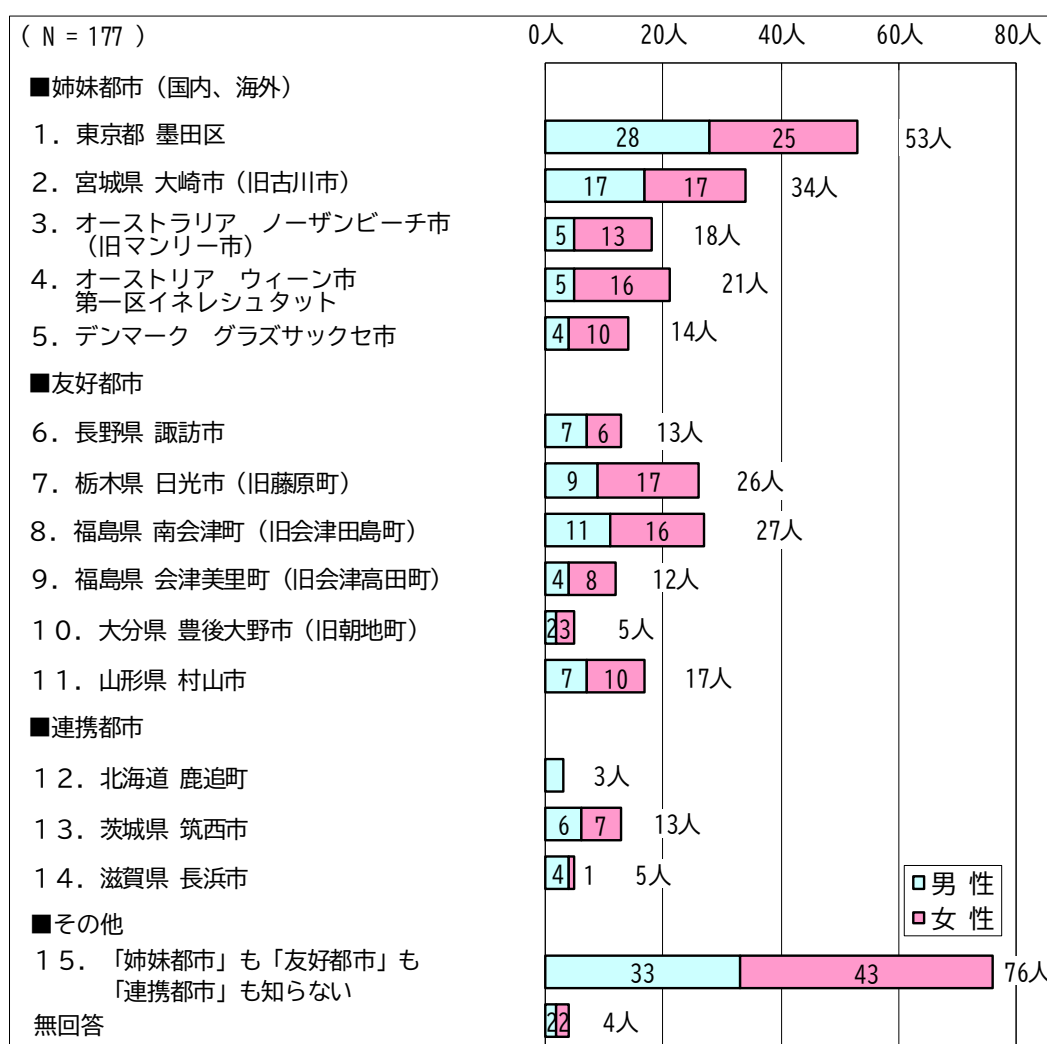
今回の調査で、台東区と姉妹・友好、連携都市との交流に関心が「ある」「どちらかといえばある」と回答した方と、様々な都市と交流することが「必要である」と回答した方は、ともに約8割となりました。一方で、区と姉妹・友好、連携都市が、文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野で交流していることを「知っている」と回答した方は4割に留まっていることから、都市交流に関する情報発信を充実し、区民が交流事業に参加できる環境づくりが必要であることが確認できました。

今回いただきましたご意見を参考に、様々な分野における区民主体の交流が一層推進されるよう、これからも効果的な都市交流事業を展開してまいります。

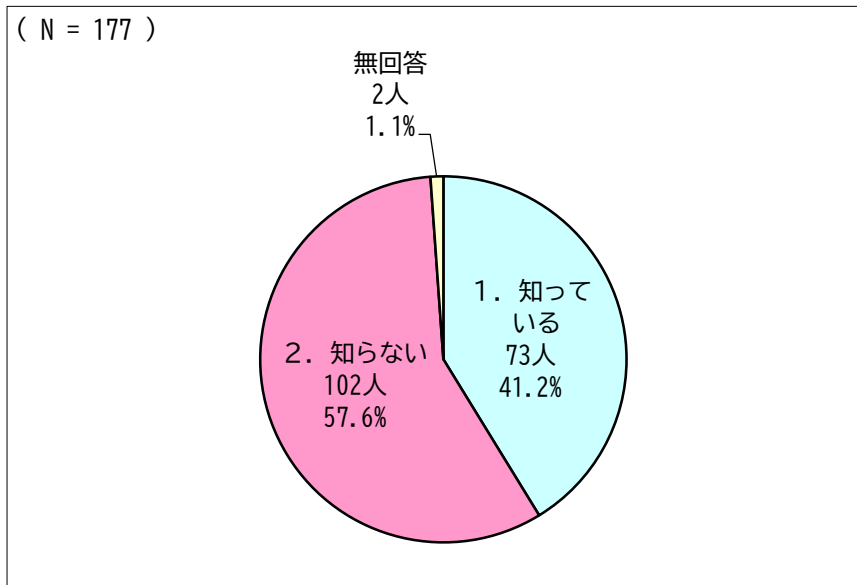
(国際・都市交流推進室 都市交流課)

設問23: 区は、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るため、国内に11の都市と「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」を締結しています。さらに、海外には3つの都市と「姉妹都市」を締結し、区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信するための交流を推進しています。

あなたが、区が締結していることを知っている「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」はありますか。(複数回答可)

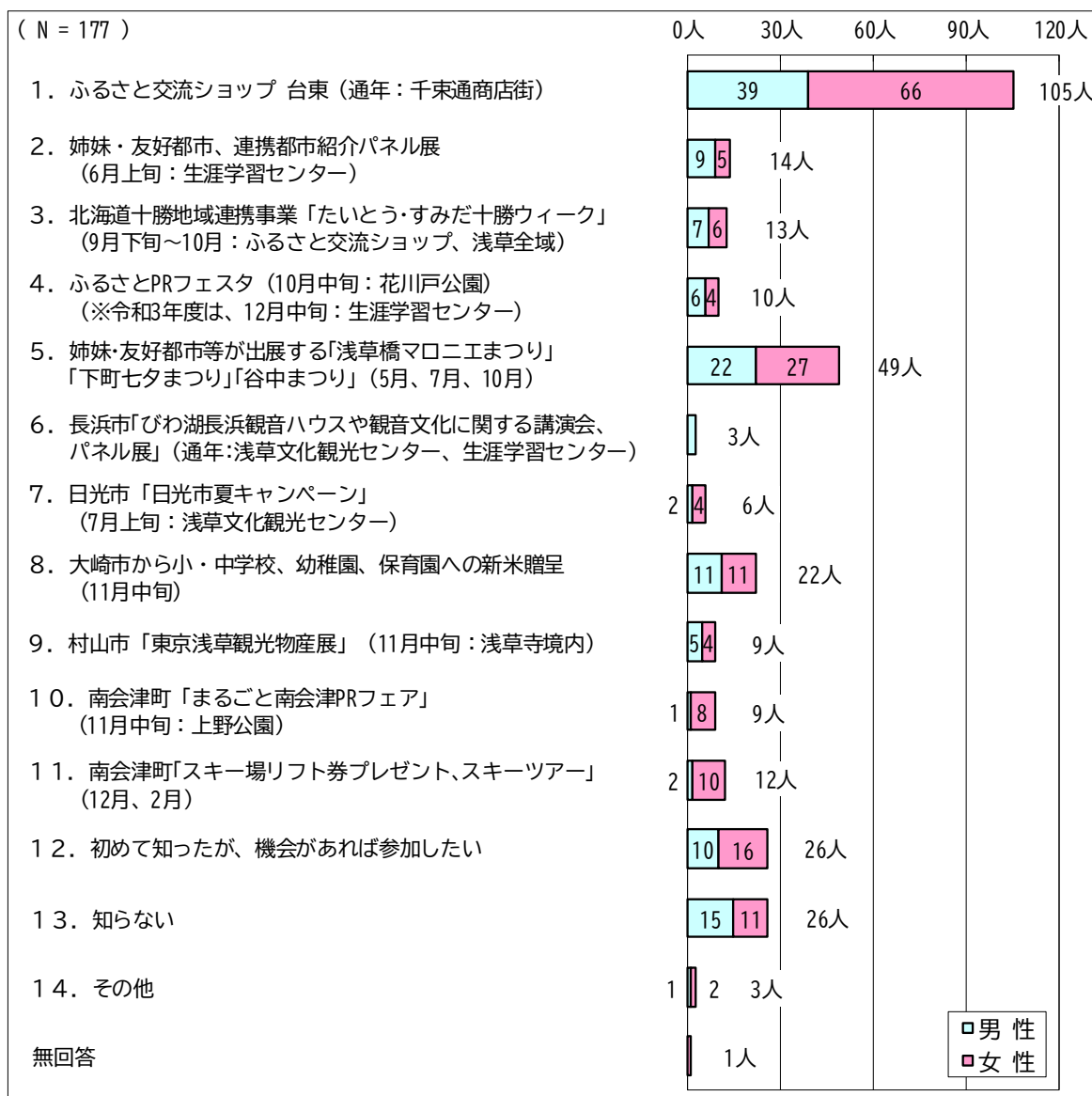


設問24：区と姉妹・友好、連携都市が、文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野の交流を行っていますが、知っていますか。

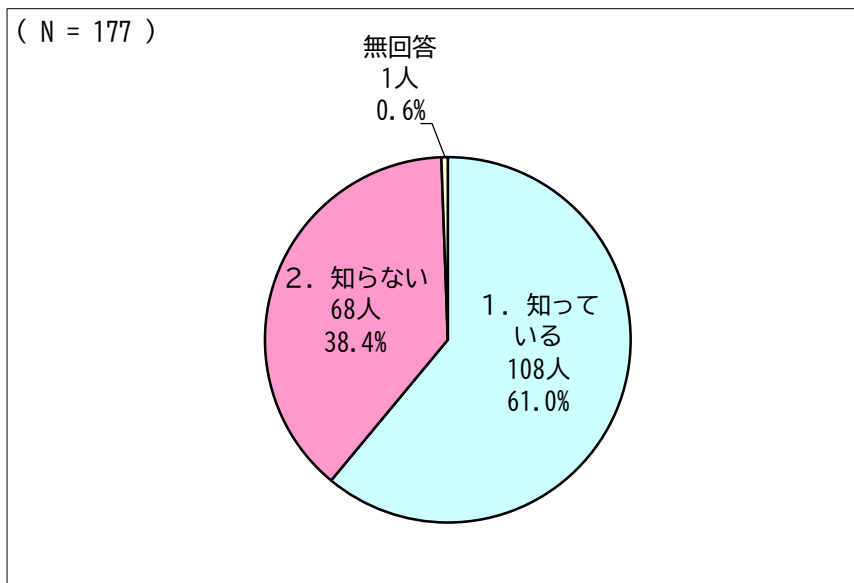


設問25：姉妹・友好、連携都市などが、区内で事業を実施したり、区のイベントや事業に出展したりすることがあります。

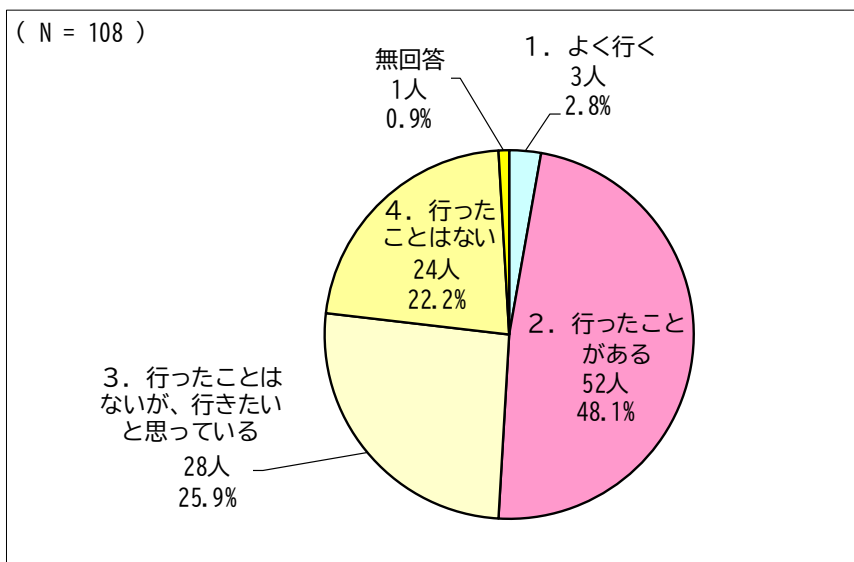
あなたが知っているイベントや事業はありますか。(複数回答可)



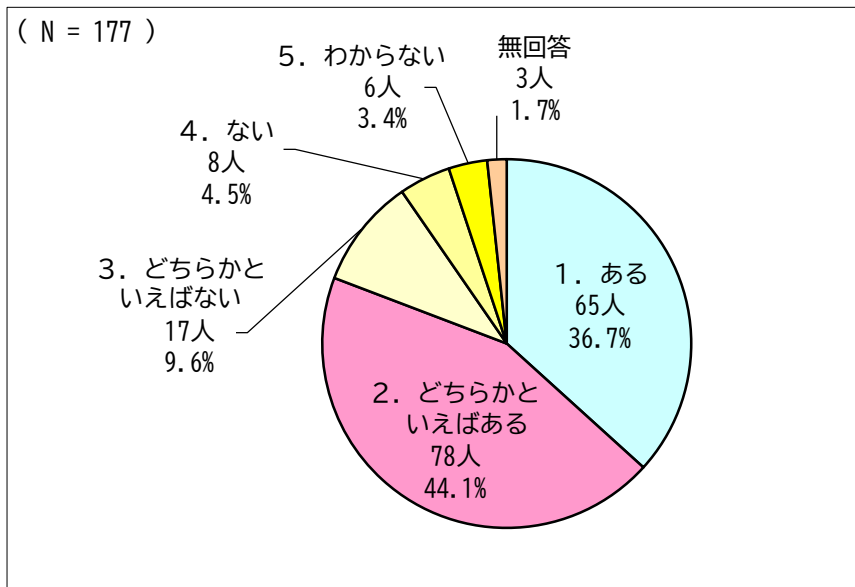
設問26：千束通商店街に、姉妹・友好、連携都市をはじめとする全国の自治体が、特産品販売や各地の魅力を発信する「ふるさと交流ショップ 台東」がありますが、知っていますか。



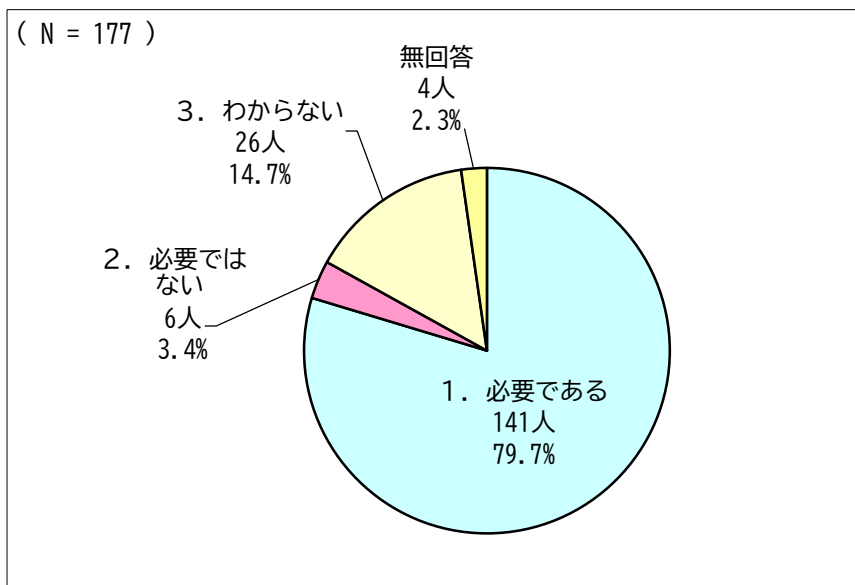
設問27：設問26で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。「ふるさと交流ショップ 台東」に行ったことがありますか。



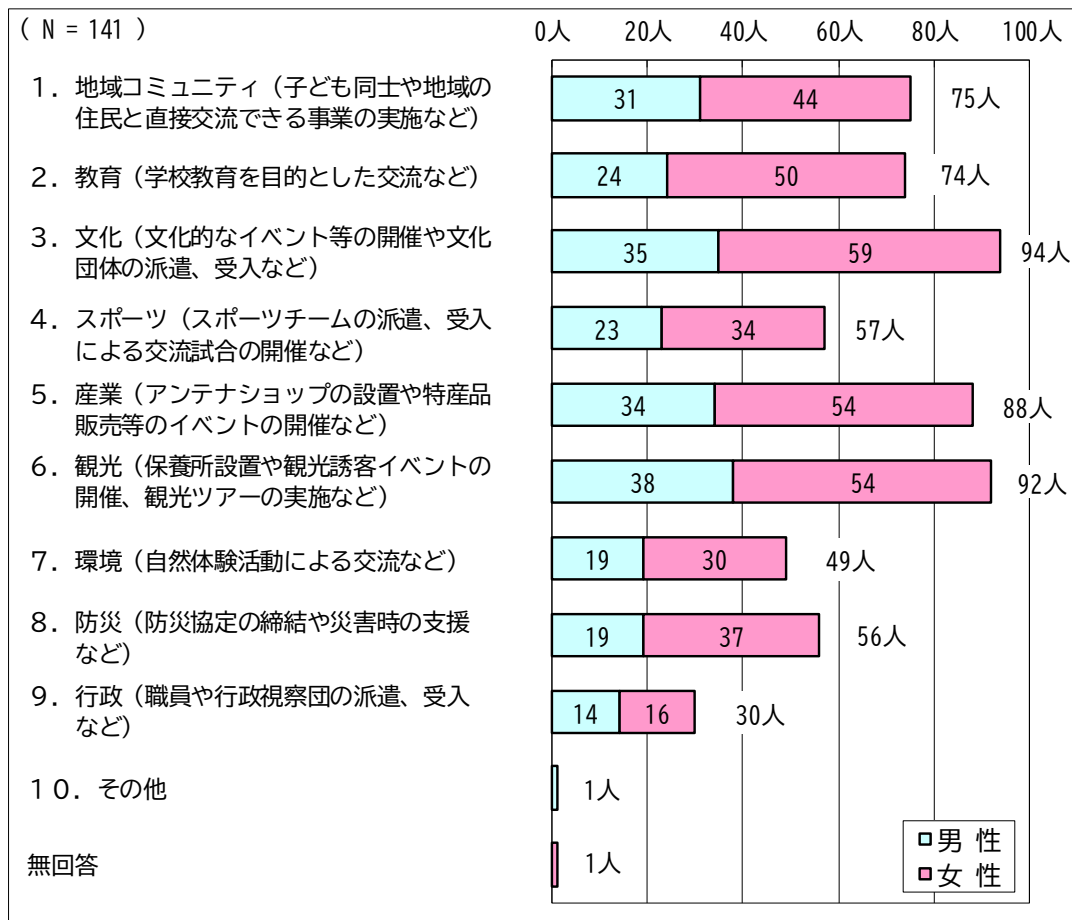
設問28：区の姉妹・友好、連携都市との交流に関心はありますか。



設問29：姉妹・友好、連携都市に限らず、区が国内外の各都市や地域と様々な交流をすることは必要だと思いますか。

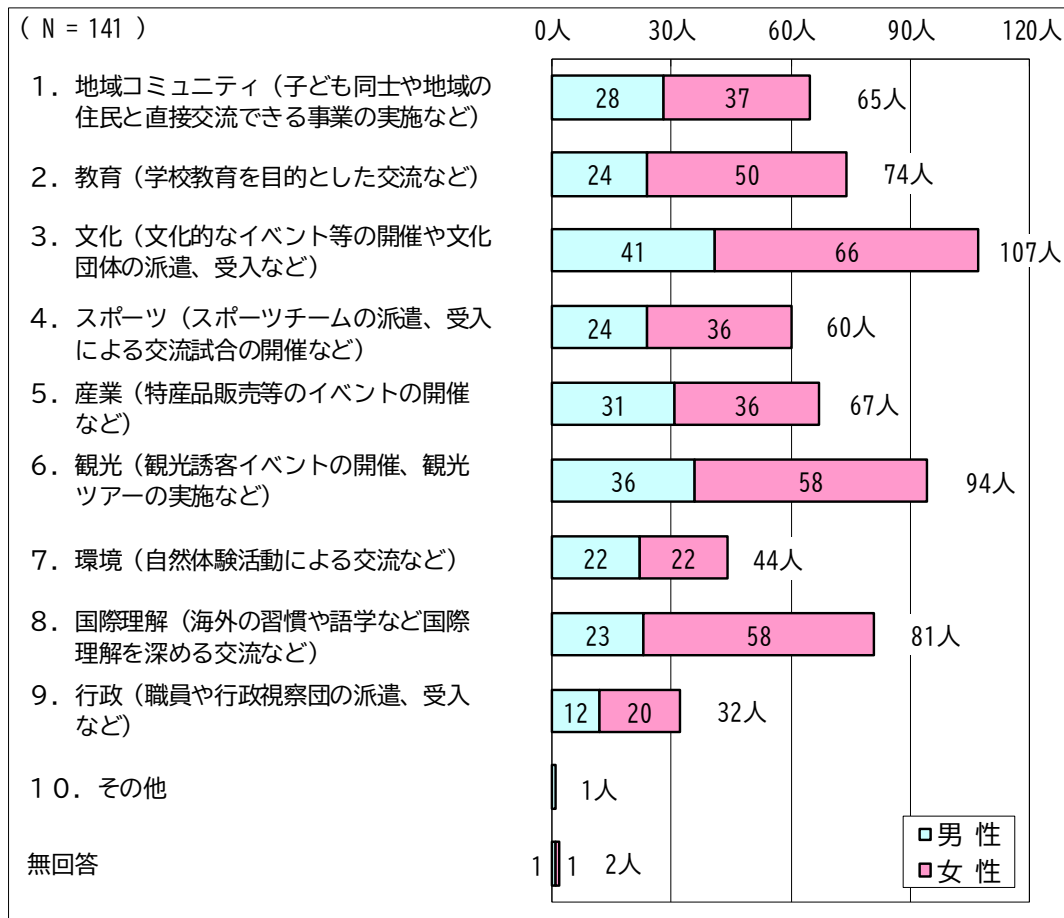


設問30：設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
国内の都市とどのような分野の交流が必要だと思いますか。（複数回答可）

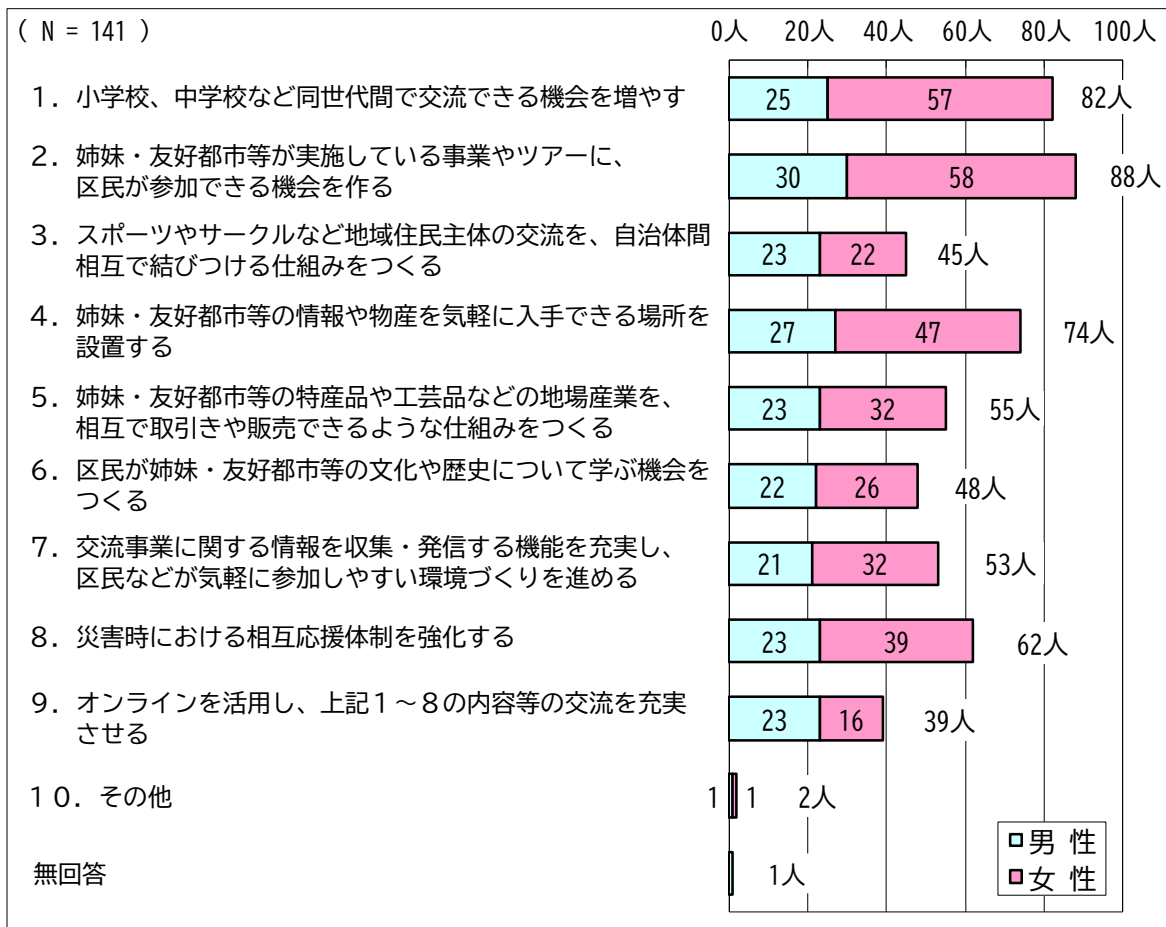


設問31：設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。

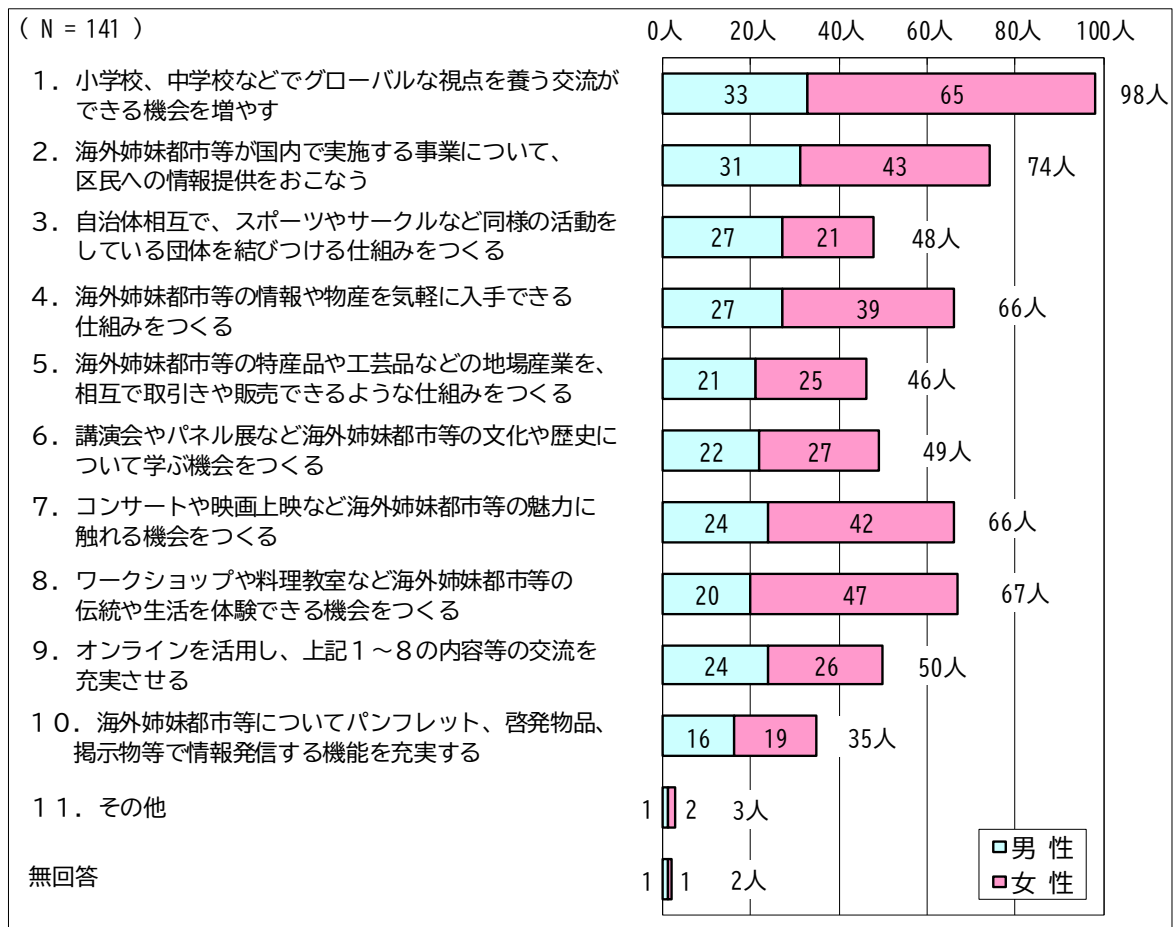
海外姉妹都市等とどのような分野の交流が必要だと思いますか。（複数回答可）



設問32：設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
 国内の都市との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。
 (複数回答可)



設問33：設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
 海外姉妹都市等との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。
 (複数回答可)



設問34：「都市交流」についてご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・ コロナ禍でオンラインが普及したところなので、海外の学校と区内の学校の生徒をオンラインで交流させる取り組みなど、やりやすい環境にあるのではないかと思う。ぜひ国際交流の機会を拡大してほしい。
- ・ 文化、産業、観光分野についてお互いの良いところを共有していき、今後役に立てるよう意見交換を積極的に行った方が良く考えている。
- ・ 都市交流についての取り組みは全ての面で必要な気がする。その上で、その取り組みで興味を持った人々が将来的に双方向でIターン・Uターンが気軽にできる支援・制度作りがあると良いと思う。
- ・ 台東区は観光スポットや伝統工芸に恵まれており、他の自治体、海外との交流は行いやすい環境下にあるので、このアドバンテージを存分に活かし交流に積極的に取り組んでほしい。
- ・ 人と人の交流を通して子供たちにグローバルな視点を持ってもらいたい。台東区以外の国内外の人々の生活を実際に身近に感じてもらう機会があると良いと思う。
- ・ 小学生の頃に姉妹都市の大崎市から新米が届いて嬉しかった記憶がある。これからもぜひ続けてほしい。
- ・ 以前、豊後大野市の移住体験をしたことがある。とても良い体験ができ、その後もSNSやお祭り等で挨拶をするなど交流が続いている。区民がそういう体験をどんどんできれば良いと思う。
- ・ 子供たちが国際人になるにはグローバル教育が必要だ。外国に抵抗なく興味が持てるよう海外姉妹都市交流を通して身に付けられるような環境を作ってあげられたら良いと思う。
- ・ 様々な分野の交流が必要で、お互いをもっと理解し、協力し合える存在は大切だ。小中学校などの交流も、小さい時から地元以外の地方と交流することで視野を広げる機会となる。地域交流はこれからも大賛成だ。
- ・ 都市交流は良いことだと思う。姉妹都市などの形式にとらわれずに、実施するのが良いと思う。
- ・ 今はあまり交流している感じがしないので、もっと活発に交流していけば良いと思う。

- ・マロニエまつりに参加したことがあるが、楽しかった。その時に初めて「姉妹都市」を知った。お祭りを通して都市交流への理解が深まると思う。
- ・国際化の時代、国内だけでなく海外姉妹都市との交流は非常に重要になってくる。コロナ後を見据えて拡充を期待したい。言語の壁は大きいと思うので、簡単な語学教室等を開催してみてもどうか。
- ・人と人、街と街が繋がり、結びつき、互いの歴史や文化を認め合い、交わることが「都市交流」と考える。
- ・姉妹都市であることの直接的なメリットなどはあまり感じないが、学校教育などを通じて他の地域などを少し身近に感じるきっかけにはなっていると思う。海外の姉妹都市などとの交流がもっと盛んになると良い。
- ・都市交流のイベントなどがあれば、参加してみたい。交流する機会はなかなかないので、区民も参加できるイベントをやってほしい。
- ・なぜその都市と台東区が結びついているのか、そういった部分で興味が広がると思うので、情報発信をしてほしい。産業分野も含めた防災提携などをどんどん進めてほしい。それぞれの地域の活動団体がつながるような、活動者の主体性を重視したサポートが必要だと思う。
- ・見知らぬ外国との交流が個人では困難でも、行政が関わる事によってより交流しやすくなるのが望ましい。
- ・区民のグローバル化を推進するために、オンラインでもいいので海外との交流機会を増やした方が良い。
- ・私はデンマーク派遣に行きたかったが、コロナ禍でそれが無くなってしまったので、コロナ禍でも海外などの姉妹都市と交流出来る機会を作ってほしい。
- ・小学校、中学校、同世代間での交流が出来る機会を増やす事は良いと思う。友好都市等の文化や歴史を学び、人間としてより磨かれていくと思う。
- ・普段の生活で都市交流について触れる機会がないため、あまり関心を持っていない。イベント等を開催する際は都市交流の意義も積極的に情報発信してもらえたら嬉しい。
- ・インターネットを通じて全国の様々な魅力的な地域が検索できる中、よほど区に関して高い意識や興味、愛情を持っていないと、姉妹都市だからという理由で交流に参加するという気にはならないのではないかと思う。

II アンケート質問と回答

【生涯学習について】

設問1: 「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも自由に行う学習活動のことで、学校教育や社会教育館における講座等に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などのさまざまな学習活動のことをいいます。あなたは、過去1年間に何らかの生涯学習をしたことがありますか。

1. したことがある	122人	68.9%
2. したことはない	52人	29.4%
無回答	3人	1.7%
全体	177人	100.0%

設問2: 設問1で選択肢1「したことがある」を選択した方にお伺いします。あなたは、過去1年間にどのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。（複数回答可）

1. 社会教育館、区役所などの公共施設が行う講座や教室	36人	29.5%
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育	31人	25.4%
3. 図書館、博物館、美術館	51人	41.8%
4. テレビやラジオ	35人	28.7%
5. 情報端末やインターネット	63人	51.6%
6. 自宅での学習活動（書籍など）	69人	56.6%
7. 同好者の自主的な集まりやサークル活動	27人	22.1%
8. 高等学校、大学、大学院、専門学校などの講座や教室	14人	11.5%
9. 職場の教育、研修	27人	22.1%
10. その他	7人	5.7%
全体	360人	

設問3: 設問1で選択肢2「したことはない」を選択した方にお伺いします。あなたが過去1年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。（複数回答可）

1. 仕事が忙しくて時間がない	17人	32.7%
2. 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	11人	21.2%
3. 新型コロナウイルスの影響のため	24人	46.2%
4. 費用がかかる	8人	15.4%
5. 生涯学習に関する情報が入手できない	7人	13.5%
6. 身近なところに施設や場所がない	5人	9.6%
7. 一緒に学習や活動をする仲間がいない	4人	7.7%
8. きっかけがつかめない	17人	32.7%
9. 講座の実施時期、開催日時が自分の希望に合わない	6人	11.5%
10. どのような学習や活動をすべきかわからない	9人	17.3%
11. やりたいと思わない	6人	11.5%
12. する必要を感じない	7人	13.5%
13. 特に理由はない	2人	3.8%
14. その他	1人	1.9%
無回答	1人	1.9%
全体	125人	

設問4: あなたは、今後どのような場所や形態で生涯学習を行いたいですか。(複数回答可)

1. 社会教育館、区役所などの公共施設が行う講座や教室	95人	53.7%
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育	88人	49.7%
3. 図書館、博物館、美術館	100人	56.5%
4. テレビやラジオ	49人	27.7%
5. 情報端末やインターネット	88人	49.7%
6. 自宅での学習活動(書籍など)	86人	48.6%
7. 同好者の自主的な集まりやサークル活動	69人	39.0%
8. 高等学校、大学、大学院、専門学校などの講座や教室	50人	28.2%
9. 職場の教育、研修	28人	15.8%
10. 今後も生涯学習をするつもりはない	0人	0.0%
11. その他	3人	1.7%
全体	656人	

設問5: あなたはこれまでに台東区の社会教育センターや社会教育館を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある	70人	39.5%
2. 利用したことはない	103人	58.2%
無回答	4人	2.3%
全体	177人	100.0%

設問6: 設問5で選択肢2「利用したことはない」を選択した方にお伺いします。台東区の社会教育センターや社会教育館を利用したことがない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 施設が存在を知らない	51人	49.5%
2. どのようなことができる施設であるかわからない	57人	55.3%
3. 利用する必要(機会)がない	33人	32.0%
4. 同じ人ばかりが利用していて、入りにくい雰囲気がある	15人	14.6%
5. 施設、設備が古い	4人	3.9%
6. サービスや設備に魅力がない	6人	5.8%
7. Wi-Fi環境がない	5人	4.9%
8. 利用方法がわからない	28人	27.2%
9. 利用料金が高い	4人	3.9%
10. 通しやすい場所がない	10人	9.7%
11. その他	9人	8.7%
無回答	1人	1.0%
全体	223人	

設問7: あなたは生涯学習に関する情報をどのような方法で得ていますか。(複数回答可)

1. 新聞、雑誌	43人	24.3%
2. チラシ、ポスター	44人	24.9%
3. インターネット	92人	52.0%
4. LINE、TwitterなどのSNS	46人	26.0%
5. 家族や友人、知人からの口伝え	51人	28.8%
6. 公共施設に設置された窓口	35人	19.8%
7. サークル、グループ、クラブ、同好会	17人	9.6%
8. 町会の回覧や地域住民の連絡	22人	12.4%
9. ラジオやテレビ	25人	14.1%
10. 機関紙(広報たいとう等)、掲示板、パンフレット等	86人	48.6%
11. 情報専門紙(誌)	10人	5.6%
12. 特に得ていない	13人	7.3%
13. その他	1人	0.6%
無回答	7人	4.0%
全体	492人	

設問8: 仕事や生涯学習などを通じて身に付けた知識・技能や経験を地域活動や社会に活かしたいと思いませんか。

1. 思う	80人	45.2%
2. どちらかといえば思う	73人	41.2%
3. どちらかといえば思わない	10人	5.6%
4. 思わない	4人	2.3%
5. わからない	9人	5.1%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問9: 設問8で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いませんか。(複数回答可)

1. 防犯・防災活動	47人	30.7%
2. 子育て、育児を支援する活動	48人	31.4%
3. 国際交流に関する活動	57人	37.3%
4. スポーツ、文化活動	68人	44.4%
5. 地域の子供のための活動(レクリエーション活動や自然体験など)	51人	33.3%
6. 地域の環境保全に関する活動	34人	22.2%
7. 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	56人	36.6%
8. 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	55人	35.9%
9. 障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	44人	28.8%
10. 学校の環境整備(花壇の整備など)や教育活動を支援するなど、地域と学校と協働する活動	30人	19.6%
11. 地域や社会での活動に参加したいとは思わない	0人	0.0%
12. わからない	4人	2.6%
13. その他	3人	2.0%
無回答	1人	0.7%
全体	498人	

設問10: コロナ禍により、Zoom等を利用した講座や教室など、オンラインでの学習機会が増えています。
あなたは、オンラインでの学習を利用したことがありますか。

1. すでに利用している	87人	49.2%
2. 利用したいが機会がない	31人	17.5%
3. 利用したいがやり方がわからない	19人	10.7%
4. 利用したいが環境がない（インターネットを接続できる環境やパソコン・タブレット・スマホなどの機器がない）	6人	3.4%
5. 利用したいと思わない	28人	15.8%
6. その他	2人	1.1%
無回答	4人	2.3%
全体	177人	100.0%

設問11: 台東区の生涯学習の推進について、ご意見等がありましたらご記入ください。

【地域活動・協働について】

設問12: 町会、サークルやクラブ、ボランティアなどの地域活動をしていますか。
または、今後、参加したいと思いませんか。

1. 現在活動している	40人	22.6%
2. 現在、活動はしていないが、機会があれば参加したい	67人	37.9%
3. 現在、活動しておらず、今後参加するかわからない	49人	27.7%
4. 現在、活動しておらず、今後も参加する考えはない	21人	11.9%
全体	177人	100.0%

設問13: 設問12で選択肢1「現在活動している」を選択した方にお伺いします。
あなたが活動・参加している地域活動の団体はどれですか。（複数回答可）

1. 町会・自治会、コミュニティ委員会	24人	60.0%
2. 一定地域に住む人で構成される活動団体（老人クラブ、PTA、消防団、商店会など）	9人	22.5%
3. ボランティア団体・NPO法人	12人	30.0%
4. 行政協力活動（民生委員・児童委員・健康推進委員など）	4人	10.0%
5. 生涯学習・趣味・スポーツを目的としたサークルやクラブ	14人	35.0%
6. 職場や学校で行う地域活動（会社・大学・専修学校など）	4人	10.0%
7. その他	0人	0.0%
全体	67人	

設問14: 設問12で選択肢2「現在、活動はしていないが、機会があれば参加したい」を選択した方にお伺いします。

あなたが活動・参加したい地域活動の団体はどれですか。（複数回答可）

1. 町会・自治会、コミュニティ委員会	31人	46.3%
2. 一定地域に住む人で構成される活動団体（老人クラブ、PTA、消防団、商店会など）	16人	23.9%
3. ボランティア団体・NPO法人	30人	44.8%
4. 行政協力活動（民生委員・児童委員・健康推進委員など）	15人	22.4%
5. 生涯学習・趣味・スポーツを目的としたサークルやクラブ	45人	67.2%
6. 職場や学校で行う地域活動（会社・大学・専修学校など）	15人	22.4%
7. その他	0人	0.0%
全体	152人	

設問15: 設問12で選択肢1「現在活動している」を選択した方にお伺いします。

「協働」とは、「多様な主体が相互の立場や特性を認め合い、共通する課題の解決や社会的目的の実現に向けて協力して取り組むこと」とされています。

区と協働でイベントなどの事業を実施したことはありますか。

1. 区と協働で事業を実施したことがある	17人	42.5%
2. 区と協働で事業を実施しようと試みたが、調整が付かず実施できなかった	2人	5.0%
3. 区と協働で事業を実施したことはない	21人	52.5%
全体	40人	100.0%

設問16: 設問15で選択肢1「区と協働で事業を実施したことがある」を選択した方にお伺いします。

区と協働で事業を実施して良かったことは何ですか。（複数回答可）

1. 区との繋がりができた	8人	47.1%
2. 地域活動団体だけではできないことが実施できた	4人	23.5%
3. 団体の認知度・信頼度が上昇した	4人	23.5%
4. 広報たいとうや区公式ホームページなどで広く周知ができた	5人	29.4%
5. 活動の幅が広がった	6人	35.3%
6. 費用面での援助が受けられた	6人	35.3%
7. その他	0人	0.0%
全体	33人	

設問17: 設問15で選択肢1「区と協働で事業を実施したことがある」を選択した方にお伺いします。

区と協働で事業を実施するにあたって課題となったことは何ですか。（複数回答可）

1. 役割分担が明確化できなかった	3人	17.6%
2. 情報共有がうまくいかなかった	2人	11.8%
3. 事業が進んでいく中で考え方にズレが生じ始めた	1人	5.9%
4. 調整することが多く、時間がかかった	6人	35.3%
5. 制約が増え、事業の幅が狭まった	0人	0.0%
6. その他	3人	17.6%
無回答	5人	29.4%
全体	20人	

設問18: 設問15で選択肢2「区と協働で事業を実施しようと試みたが、調整が付かず実施できなかった」を選択した方にお伺いします。
調整できなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. 区の所管課が見つからなかった	1人	50.0%
2. 事業目的が一致しなかった	1人	50.0%
3. 費用面での折り合いがつかなかった	0人	0.0%
4. 効果が見込めなかった	0人	0.0%
5. スケジュールの都合がつかなかった	0人	0.0%
6. その他	2人	100.0%
全体	4人	

設問19: 設問15で選択肢3「区と協働で事業を実施したことはない」を選択した方にお伺いします。
実施したことがない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 区と協働できる可能性を知らなかった	10人	47.6%
2. 区の窓口が分からない	9人	42.9%
3. 区と協働する必要性・メリットがないと感じている	2人	9.5%
4. 団体の活動実績が浅い	2人	9.5%
5. 団体だけで活動した方が効率的	3人	14.3%
6. 効果が見込めない	0人	0.0%
7. その他	4人	19.0%
全体	30人	

設問20: 設問12で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
地域活動に参加していない理由は何ですか。

1. 参加する時間がない	16人	22.9%
2. 参加したい活動がない	8人	11.4%
3. 活動団体に関する情報が少ない	10人	14.3%
4. 参加のきっかけがない	22人	31.4%
5. 参加に関する相談をする場所がない	2人	2.9%
6. 活動を一緒にする仲間がいない	1人	1.4%
7. 場所や活動資金がない	0人	0.0%
8. 体力的・身体的に参加が難しい	3人	4.3%
9. 活動自体に興味がない	3人	4.3%
10. その他	2人	2.9%
無回答	3人	4.3%
全体	70人	100.0%

設問21: 区民がより地域活動に参加しやすくなり、また、団体の地域活動がより活発になるために、区にどのような支援を求めますか。(複数回答可)

1. 地域活動に役立つ情報の提供	113人	63.8%
2. 地域活動について相談ができる窓口の提供	54人	30.5%
3. 地域活動を体験できる場や機会の提供	106人	59.9%
4. 地域活動への理解や参加を促すための広報・普及活動	92人	52.0%
5. 活動費の助成	60人	33.9%
6. 会議室や交流スペースなどの場所の提供	64人	36.2%
7. 地域活動団体同士が交流できる交流会の実施	31人	17.5%
8. その他	2人	1.1%
無回答	4人	2.3%
全体	526人	

設問22: 地域活動・協働についてご意見等がありましたらご記入ください。

【都市交流について】

設問23 区は、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るため、国内に11の都市と「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」を締結しています。さらに、海外には3つの都市と「姉妹都市」を締結し、区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信するための交流を推進しています。
あなたが、区が締結していることを知っている「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」はありますか。(複数回答可)

■姉妹都市(国内、海外)

1. 東京都 墨田区	53人	29.9%
2. 宮城県 大崎市(旧古川市)	34人	19.2%
3. オーストラリア ノーザンビーチ市(旧マンリー市)	18人	10.2%
4. オーストリア ウィーン市第一区イネレシュタット	21人	11.9%
5. デンマーク グラスサクセ市	14人	7.9%

■友好都市

6. 長野県 諏訪市	13人	7.3%
7. 栃木県 日光市(旧藤原町)	26人	14.7%
8. 福島県 南会津町(旧会津田島町)	27人	15.3%
9. 福島県 会津美里町(旧会津高田町)	12人	6.8%
10. 大分県 豊後大野市(旧朝地町)	5人	2.8%
11. 山形県 村山市	17人	9.6%

■連携都市

12. 北海道 鹿追町	3人	1.7%
13. 茨城県 筑西市	13人	7.3%
14. 滋賀県 長浜市	5人	2.8%

■その他

15. 「姉妹都市」も「友好都市」も「連携都市」も知らない	76人	42.9%
無回答	4人	2.3%
全体	341人	

設問24: 区と姉妹・友好、連携都市が、文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野の交流を行っていますか、知っていますか。

1. 知っている	73人	41.2%
2. 知らない	102人	57.6%
無回答	2人	1.1%
全体	177人	100.0%

設問25: 姉妹・友好、連携都市などが、区内で事業を実施したり、区のイベントや事業に出展したりすることがあります。

あなたが知っているイベントや事業はありますか。（複数回答可）

1. ふるさと交流ショップ 台東（通年：千束通商店街）	105人	59.3%
2. 姉妹・友好都市、連携都市紹介パネル展 （6月上旬：生涯学習センター）	14人	7.9%
3. 北海道十勝地域連携事業「たいとう・すみだ 十勝ウィーク」 （9月下旬～10月：ふるさと交流ショップ、浅草全域）	13人	7.3%
4. ふるさとPRフェスタ（10月中旬：花川戸公園） （※令和3年度は、12月中旬：生涯学習センター）	10人	5.6%
5. 姉妹・友好都市等が出展する「浅草橋マロニエまつり」 「下町七夕まつり」「谷中まつり」（5月、7月、10月）	49人	27.7%
6. 長浜市「びわ湖長浜観音ハウスや観音文化に関する講演会、 パネル展」（通年：浅草文化観光センター、生涯学習センター）	3人	1.7%
7. 日光市「日光市夏キャンペーン」 （7月上旬：浅草文化観光センター）	6人	3.4%
8. 大崎市から小・中学校、幼稚園、保育園への新米贈呈 （11月中旬）	22人	12.4%
9. 村山市「東京浅草観光物産展」（11月中旬：浅草寺境内）	9人	5.1%
10. 南会津町「まるごと南会津PRフェア」（11月中旬：上野公園）	9人	5.1%
11. 南会津町「スキー場リフト券プレゼント、スキーツアー」 （12月、2月）	12人	6.8%
12. 初めて知ったが、機会があれば参加したい	26人	14.7%
13. 知らない	26人	14.7%
14. その他	3人	1.7%
無回答	1人	0.6%
全体	308人	

設問26: 千束通商店街に、姉妹・友好、連携都市をはじめとする全国の自治体が、特産品販売や各地の魅力を発信する「ふるさと交流ショップ 台東」がありますが、知っていますか。

1. 知っている	108人	61.0%
2. 知らない	68人	38.4%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問27: 設問26で選択肢1「知っている」を選択した方にお伺いします。
「ふるさと交流ショップ 台東」に行ったことがありますか。

1. よく行く	3人	2.8%
2. 行ったことがある	52人	48.1%
3. 行ったことはないが、行きたいと思っている	28人	25.9%
4. 行ったことはない	24人	22.2%
無回答	1人	0.9%
全体	108人	100.0%

設問28: 区の姉妹・友好、連携都市との交流に関心はありますか。

1. ある	65人	36.7%
2. どちらかといえばある	78人	44.1%
3. どちらかといえばない	17人	9.6%
4. ない	8人	4.5%
5. わからない	6人	3.4%
無回答	3人	1.7%
全体	177人	100.0%

設問29: 姉妹・友好、連携都市に限らず、区が国内外の各都市や地域と様々な交流をすることは必要だと思いませんか。

1. 必要である	141人	79.7%
2. 必要ではない	6人	3.4%
3. わからない	26人	14.7%
無回答	4人	2.3%
全体	177人	100.0%

設問30: 設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
国内の都市とどのような分野の交流が必要だと思いませんか。（複数回答可）

1. 地域コミュニティ（子ども同士や地域の住民と直接交流できる事業の実施など）	75人	53.2%
2. 教育（学校教育を目的とした交流など）	74人	52.5%
3. 文化（文化的なイベント等の開催や文化団体の派遣、受入など）	94人	66.7%
4. スポーツ（スポーツチームの派遣、受入による交流試合の開催など）	57人	40.4%
5. 産業（アンテナショップの設置や特産品販売等のイベントの開催など）	88人	62.4%
6. 観光（保養所設置や観光誘客イベントの開催、観光ツアーの実施など）	92人	65.2%
7. 環境（自然体験活動による交流など）	49人	34.8%
8. 防災（防災協定の締結や災害時の支援など）	56人	39.7%
9. 行政（職員や行政視察団の派遣、受入など）	30人	21.3%
10. その他	1人	0.7%
無回答	1人	0.7%
全体	617人	

設問31: 設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
海外姉妹都市等とどのような分野の交流が必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 地域コミュニティ（子ども同士や地域の住民と直接交流できる事業の実施など）	65人	46.1%
2. 教育（学校教育を目的とした交流など）	74人	52.5%
3. 文化（文化的なイベント等の開催や文化団体の派遣、受入など）	107人	75.9%
4. スポーツ（スポーツチームの派遣、受入による交流試合の開催など）	60人	42.6%
5. 産業（特産品販売等のイベントの開催など）	67人	47.5%
6. 観光（観光誘客イベントの開催、観光ツアーの実施など）	94人	66.7%
7. 環境（自然体験活動による交流など）	44人	31.2%
8. 国際理解（海外の習慣や語学など国際理解を深める交流など）	81人	57.4%
9. 行政（職員や行政視察団の派遣、受入など）	32人	22.7%
10. その他	1人	0.7%
無回答	2人	1.4%
全体	627人	

設問32: 設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
国内の都市との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 小学校、中学校など同世代間で交流できる機会を増やす	82人	58.2%
2. 姉妹・友好都市等が実施している事業やツアーに、区民が参加できる機会を作る	88人	62.4%
3. スポーツやサークルなど地域住民主体の交流を、自治体間相互で結びつける仕組みをつくる	45人	31.9%
4. 姉妹・友好都市等の情報や物産を気軽に入手できる場所を設置する	74人	52.5%
5. 姉妹・友好都市等の特産品や工芸品などの地場産業を、相互で取引や販売できるような仕組みをつくる	55人	39.0%
6. 区民が姉妹・友好都市等の文化や歴史について学ぶ機会をつくる	48人	34.0%
7. 交流事業に関する情報を収集・発信する機能を充実し、区民などが気軽に参加しやすい環境づくりを進める	53人	37.6%
8. 災害時における相互応援体制を強化する	62人	44.0%
9. オンラインを活用し、上記1～8の内容等の交流を充実させる	39人	27.7%
10. その他	2人	1.4%
無回答	1人	0.7%
全体	549人	

設問33: 設問29で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
海外姉妹都市等との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(複数回答可)

1. 小学校、中学校などでグローバルな視点を養う交流ができる機会を増やす	98人	69.5%
2. 海外姉妹都市等が国内で実施する事業について、区民への情報提供をおこなう	74人	52.5%
3. 自治体相互で、スポーツやサークルなど同様の活動をしている団体を結びつける仕組みをつくる	48人	34.0%
4. 海外姉妹都市等の情報や物産を気軽に入手できる仕組みをつくる	66人	46.8%
5. 海外姉妹都市等の特産品や工芸品などの地場産業を、相互で取引や販売できるような仕組みをつくる	46人	32.6%
6. 講演会やパネル展など海外姉妹都市等の文化や歴史について学ぶ機会をつくる	49人	34.8%
7. コンサートや映画上映など海外姉妹都市等の魅力に触れる機会をつくる	66人	46.8%
8. ワークショップや料理教室など海外姉妹都市等の伝統や生活を体験できる機会をつくる	67人	47.5%
9. オンラインを活用し、上記1～8の内容等の交流を充実させる	50人	35.5%
10. 海外姉妹都市等についてパンフレット、啓発物品、掲示物等で情報発信する機能を充実する	35人	24.8%
11. その他	3人	2.1%
無回答	2人	1.4%
全体	604人	

設問34: 「都市交流」についてご意見等がありましたらご記入ください。

令和3年度 第4回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和4年2月
台東区総務部広報課
令和3年度登録第59号